
日本語トランスレータ リファレンス・マニュアル

AA-RH5TA-TE

オペレーティング・システム: 日本語 VMS V5.3 以降
日本語 ULTRIX/UWS V4.2 以降

ソフトウェア・バージョン: 日本語テキスト・トランスレータ V4.5-J
漢字 ReGIS トランスレータ V3.1-00
カタカナ Tektronix トランスレータ V1.2-02

コンパックコンピュータ株式会社

1999 年 4 月

本書の著作権はコンパックコンピュータ株式会社が保有しており、本書中の解説および図、表はコンパックの文書による許可なしに、その全体または一部を、いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また、本書に記載されている事項は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。万一、本書の記述に誤りがあった場合でも、コンパックは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は、所定のライセンス契約が締結された場合に限り、その使用あるいは複製が許可されます。

© Compaq Computer K.K. 1999 All rights reserved.
Printed in Singapore.

以下は他社の商標です。

CG Triumvirate は、米国 AGFA Compugraphic Division 社の商標です。

ITC Souvenir は、米国 International Typeface 社の商標です。

LaserJet は、米国 Hewlett-Packard 社の商標です。

PCL は、米国 Hewlett-Packard 社の商標です。

PostScript は、米国 Adobe Systems 社の商標です。

Swiss は、米国 Bitstream 社の商標です。

Tektronix は、米国 Tektronix 社の商標です。

本書は、日本語 VAX DOCUMENT V 2.1を用いて作成しています。

目次

まえがき	vii
1 日本語 PostScript のトランスレータ	
2 テキスト・トランスレータ	
2.1 テキストのための4つのデータ・タイプ	2-1
2.2 拡張された機能	2-4
2.2.1 日本語拡張版 ANSI データ・タイプ	2-4
2.2.1.1 フォント	2-5
2.2.1.2 文字セット	2-6
2.2.1.3 倍角文字	2-8
2.2.1.4 文字ピッチ	2-10
2.2.1.5 文字属性	2-12
2.2.1.6 縦書き	2-14
2.2.1.7 フォーム・オーバーレイ	2-17
2.2.1.8 外字のローディング	2-19
2.2.1.8.1 VMS	2-20
2.2.1.8.2 ULTRIX	2-23
2.2.1.9 sixel グラフィックス	2-24
2.2.2 KANJI データ・タイプ	2-26
2.2.3 KANJI78 データ・タイプ	2-28
2.2.4 LA_KANJI データ・タイプ	2-30
2.2.4.1 DEC 漢字	2-30
2.2.4.2 縦書き	2-30
2.2.4.3 文字サイズ変更命令 (GSM)	2-33
2.2.4.4 文字ピッチ指定命令 (DEC SHORP)	2-33
2.2.4.5 行拡大命令 (DEC DHLT, DEC DHLB, DEC SWL, DEC DWL)	2-36
2.2.4.6 行ピッチ指定命令 (DEC VERP)	2-37
2.3 既存のプリンタとの相違	2-38
2.3.1 KANJI データ・タイプ	2-38
2.3.2 LA_KANJI	2-41

3	カタカナ Tektronix トランスレータ	
3.1	文字セット	3-2
3.2	既存のプリンタとの相違	3-3
4	漢字 ReGIS トランスレータ	
4.1	REGIS_KANJI と REGIS_KANJI80	4-2
4.2	文字セット	4-4
4.3	文字ロード・コマンド	4-6
4.4	文字シェーディング	4-7
4.5	既存の VT 端末との相違	4-7
A	テキスト・トランスレータのエスケープ/コントロール・シーケンス一覧	
B	フォント ID	
C	テキスト・トランスレータの初期設定値	
D	漢字 ReGIS トランスレータの初期設定値	
E	JIS 漢字 1978 年版と 1983 年版の違い	

索引

図

2-1	DECKVPM による縦書き (1)	2-16
2-2	DECKVPM による縦書き (2)	2-32

表

1	表記法	ix
1-1	日本語トランスレータの種類	1-3
2-1	DECSHORP のパラメータ	2-11
2-2	SGR のパラメータ	2-13
2-3	sixel のマクロパラメータ	2-24
2-4	拡張 ANSI と KANJI の違い	2-27
2-5	LA_KANJI の DECSHORP - ポートレート・オリエンテーションのとき	2-34
2-6	LA_KANJI の DECSHORP - ランドスケープ・オリエンテーションのとき	2-35
2-7	漢字 LN05 と KANJI の相違点	2-39
2-8	LA86/LA280/LA380 と LA_KANJI の相違点	2-42
4-1	REGIS_KANJI80 での標準文字セルサイズ	4-3
4-2	VT284 と漢字 ReGIS トランスレータの違い	4-8
A-1	コントロール・コード	A-2
A-2	エスケープ/コントロール・シーケンス	A-3
A-3	LA_KANJI に特有のエスケープ・シーケンス	A-5
B-1	フォント ID	B-2
C-1	テキスト・トランスレータの初期設定値	C-2
C-2	レター・サイズ (A サイズ) の初期設定値	C-5
C-3	A4 サイズの初期設定値	C-6
C-4	B サイズ (11" × 17") の初期設定値	C-7
C-5	リーガル・サイズ (8.5" × 14") の初期設定値	C-8
C-6	A5 サイズ (5.8" × 8.3") の初期設定値	C-9
C-7	A3 サイズ (11.7" × 16.5") の初期設定値	C-10
C-8	B5 サイズ (7.2" × 10.1") の初期設定値	C-11
C-9	B4 サイズ (10.1" × 14.3") の初期設定値	C-12
C-10	エグゼクティブ・サイズ (7.5" × 10.5") の初期設定値	C-13
D-1	漢字 ReGIS トランスレータの初期設定値	D-2
D-2	REGIS_KANJI データ・タイプ特有の初期設定値	D-3
D-3	REGIS_KANJI80 データ・タイプ特有の初期設定値	D-3
E-1	字形が変更された漢字 (247 文字)	E-3

まえがき

対象読者

本書は、DECprint 製品群で提供される日本語 PostScript のためのトランスレータを使用して、各種の印字・描画を行うプログラマ、およびそれらの印字・描画命令を生成するアプリケーションを作成するプログラマを対象としたマニュアルです。

本書は、下記のそれぞれの英語版マニュアルに記述されていない、日本語独自の関連機能についてのみ解説します。

- 「Digital ANSI-Compliant Printing Protocol Level 3 Programming Reference Manual」
- 「Digital ANSI-Compliant Printing Protocol Level 3 Programming Supplement」
- 「PostScript Translators Reference Manual for ReGIS and Tektronix 4010 /4014」

- 参考文献 -

- 「PostScript Printers Programmer's Supplement」
- 「LN82R 日本語 PostScript プリンタ ユーザーズ・ガイド」

以上の他に、日本語トランスレータを含むソフトウェア製品のリリース・ノートも参照してください。

本書の構成

本書は、4つの章と5つの付録から作成されています。

第1章 日本語 PostScript 用に提供されるトランスレータの概要を説明します。

第2章 日本語テキスト・トランスレータについて説明します。

第3章 カタカナ Tektronix トランスレータについて説明します。

第4章 漢字 ReGIS トランスレータについて説明します。

付録 A テキスト・トランスレータのエスケープ/コントロール・シーケンス一覧

付録 B フォント ID

付録 C テキスト・トランスレータの初期設定値

付録 D 漢字 ReGIS トランスレータの初期設定値

付録 E JIS 漢字 1978 年版と 1983 年版の違い

表記法

本書では、日本語トランスレータのもととなった、英語版製品である ANSI text translator、ReGIS translator などの機能と日本語トランスレータの機能の違いを示すために、「英語版」という表記を用います。たとえば、「英語版 ANSI トランスレータ」というように記述します。

表 1 表記法

表記法	意味
英大文字	大文字は， DCL コマンド， 修飾子， パラメータを示す。
[]	大括弧は， 囲まれている項目を省略できることを示す。
<code>Ctrl/x</code>	制御キー・シーケンスを示す。 CTRL キーを押した状態で， xによって表現される別のキーを同時に押さなければならない。
<code>Return</code>	このシンボルは， Return キーを押さなければならないことを示す。

日本語 PostScript のトランスレータ

日本語 PrintServer などの PostScript プリンタは、ページ記述プログラミング言語 PostScript によって記述された出力ページを解釈し、プリンタの解像度に応じたビットマップ・イメージを生成し、それを印刷するプリンタです。DECprint 製品群では、PostScript 以外の各種の表示装置のプロトコルをサポートするために、それらを PostScript プログラムに変換するトランスレータ・ソフトウェアも提供しています。トランスレータは VMS の PRINT コマンド、または ULTRIX の lpr コマンドを発行したシステム上で動作し、PRINT コマンドの/PARAMETER 修飾子の DATA_TYPE または lpr のオプションの中で -D を指定することで呼び出せます (ULTRIX ではリモートの場合、トランスレータはリモート・ノードで動作します)。たとえば、日本語のテキストファイル MEMO.TXT を印刷したい場合は、

- VMS の場合

```
$ PRINT/QUEUE=MY_PRINTER/PARAMETER=(DATA_TYPE=KANJI) MEMO.TXT
```

- ULTRIX の場合

```
% lpr -Pmy_printer -Dkanji memo.txt
```

のように指定することによって、自動的に KANJI トランスレータが呼び出され、MEMO.TXT の内容が PostScript プログラムに変換され、さらにそれがプリント・キュー MY_PRINTER に割り当てられた PostScript プリンタに通信回線 (イーサネットまたは RS-232C) を介して送られます。

日本語 DECprint 製品群で提供するトランスレータの機能と DATA_TYPE、または -D オプションとの対応を表 1-1 に示します。

注意

日本語版のトランスレータが提供されていない英語版のトランスレータについては、本書では説明しません。

表 1-1 日本語トランスレータの種類

DATA_TYPE または -D オプション ¹	プロトコル
ANSI	LN03 および DEClaser2100/2200 テキスト ⁴
KANJI	漢字 LN03/LN05 テキスト (DEC 漢字 1983 年版)
KANJI78	漢字 LN03/LN05 テキスト (DEC 漢字 1978 年版)
LA_KANJI	漢字 LA86/280/380 テキスト
TEK4014 ³	Tektronix 4014
TEK_KANA ²	カタカナ Tektronix 4014
REGIS ³	VT240 ReGIS
REGIS_KANJI ²	VT284 漢字 ReGIS(85 桁表示)
REGIS_KANJI80 ²	VT284 漢字 ReGIS(80 桁表示)

¹-D オプションの場合、データ・タイプはすべて小文字です。
²これらのデータ・タイプは、ULTRIX/VAX および ULTRIX/RISC ではサポートされません。
³これらのデータ・タイプは、ULTRIX/RISC ではサポートされません。
⁴このプロトコルを Digital ANSI 準拠プリンティング・プロトコル・レベル 3 と呼びます。

注意

- ANSI データ・タイプは日本語テキスト処理用に拡張されています。この拡張された ANSI と KANJI, KANJI78, LA_KANJI データ・タイプをあわせて、日本語テキスト・トランスレータと呼びます。
 - ANSI, KANJI, KANJI78, および LA_KANJI データ・タイプでは、sixel イメージもサポートされます。
 - サポートされるトランスレータの種類は、各 DECprint ソフトウェア製品によって異なります。それぞれのソフトウェア機能仕様書 (SPD) を参照してください。
-

テキスト・トランスレータ

この章では、コントロール・コードやエスケープ・シーケンスを含んだテキスト・データを解釈して、PostScript に変換する、テキスト・トランスレータについて説明します。

2.1 テキストのための4つのデータ・タイプ

日本語 DECprint 製品群では、従来のプリンタ装置に出力していたテキスト・ファイルを、ユーザが PostScript を意識せずに、従来のプリンタ装置と同様のインターフェイスで出力できるように、以下の4種のデータ・タイプをサポートしています。これらの4種類のデータ・タイプは、弊社が提供している実際のプリンタ装置と対応しています。データ・タイプを適当に選択することによって、たとえば、従来漢字 LA86 に出力していたテキスト・ファイルを、内容を変更することなしに日本語 PostScript プリンタに出力することができます。機能の詳細な違いは次節以降で説明しますので、ここではおおまかな相違点のみを説明します。

1. ANSI

弊社の LN03 および DEClaser2100/2200 プリンタに対応したインターフェイスを提供します。すなわち、ISO/ANSI 標準のコントロール機能により、文字セット、フォント、タブ、マージン、文字間隔/行間隔などを変えたり、文字列に対してアンダーライン、反転、網掛けなどの属性を指定することができます。このデータ・タイプでの機能は KANJI データ・タイプと同じですが、初期状態での文字セット、フォント、文字間隔などが異なります。たとえば、このデータ・タイプでの初期文字セットは、ASCII と DEC サプリメンタル文字

テキスト・トランスレータ

セットです。初期状態の詳細は付録 C "テキスト・トランスレータの初期設定値" を参照してください。また、英語版 ANSI トランスレータとの違いは、第 2.2 節 "拡張された機能" で説明します。

2. KANJI

弊社の漢字 LN03 および DEClaser2300(漢字 LN05) レーザ・プリンタに対応したインターフェイスを提供します。より正確には、DEClaser2300 の LN05 モードに対応したインターフェイスです。機能は ANSI データ・タイプと同じですが、初期状態が異なります。たとえば、このデータ・タイプでの初期文字セットは JIS ローマ字と DEC 漢字です。初期状態の詳細は付録 C "テキスト・トランスレータの初期設定値" を参照してください。

3. KANJI78

弊社の漢字 LN03 および DEClaser2300 レーザ・プリンタに対応したインターフェイスを提供します。KANJI データ・タイプとの違いは、KANJI データ・タイプが DEC 漢字 1983 年版をサポートするのに対して、KANJI78 は DEC 漢字 1978 年版をサポートすることです。その他の機能には違いはありません。

4. LA_KANJI

弊社の漢字 LA86 ドットインパクト・プリンタに対応したインターフェイスを提供します。正確には、DEClaser2300 の LA86 モードに対応したインターフェイスです。DEC 漢字 1983 年版をサポートします。

ANSI データ・タイプ、KANJI データ・タイプとの違いは、第 2.2 節で説明します。

これらのデータ・タイプでサポートされる命令 (エスケープ・シーケンス、コントロール・シーケンス) の一覧を付録 A に示します。

2.2 拡張された機能

日本語テキスト・トランスレータは英語版の ANSI トランスレータを日本語のために拡張したものです。ここではこの ANSI トランスレータとの相違を、4つのデータ・タイプごとに説明します。ここで説明されていない部分については英語版 ANSI トランスレータと同じなので、次の2冊、

「Digital ANSI-Compliant Printing Protocol Level 3 Programming Reference Manual」

「Digital ANSI-Compliant Printing Protocol Level 3 Programming Supplement」

を参照してください。

注意

ANSI データ・タイプを指定したときに、英語版 ANSI トランスレータを用いるか、日本語拡張版 ANSI トランスレータを用いるかは、トランスレータをサポートするソフトウェアの設定によって変更できます。英語版 ANSI トランスレータを使用している場合は、以下で説明される拡張された機能は使用できません。

2.2.1 日本語拡張版 ANSI データ・タイプ

以下の項目が拡張されています。

2.2.1.1 フォント

日本語フォントとして以下のフォントがサポートされています。

- 明朝体・縦 32 ドット×横 32 ドット相当の DEC 漢字フォント
- 明朝体・縦 40 ドット×横 40 ドット相当の DEC 漢字フォント
- ゴシック体・縦 40 ドット×横 40 ドット相当の DEC 漢字フォント
- 明朝体・縦 32 ドット×横 16 ドット相当の半角ローマ字，半角カタカナ・フォント
- 明朝体・縦 40 ドット×横 20 ドット相当の半角ローマ字，半角カタカナ・フォント
- ゴシック体・縦 40 ドット×横 20 ドット相当の半角ローマ字，半角カタカナ・フォント
- 10 ポイント 10 文字/インチ (cpi) および 10.3cpi フォントに対応するカタカナ・フォント
- 10 ポイント 12cpi フォントに対応するカタカナ・フォント
- 6.7 ポイント 13.6cpi フォントに対応するカタカナ・フォント

注意

1. 明朝体とゴシック体のフォントは，実際には PostScript のアウトラインフォントを使用しているため，ここで示したドット数は目安です。
2. 32 × 32 は 8 ポイント 9.38cpi，40 × 40 は 10 ポイント 7.5cpi です。対応する半角フォントはそれぞれ 18.75cpi，15cpi です。
3. 32 × 32 は 6.7 ポイント 6.8cpi フォントとしても用いられます。これは 6.7 ポイント 13.6cpi フォントに対応する全角漢字フォントを提供するためです。
4. これらの追加されたフォントはゴシック体を除いて，DEC BUILTIN1 ファミリーとしても登録されています。このことにより，英文書体であるクーリエと明朝体の違いを意識せずに，文字セットの切り替えや文字サイズの切り替えが行えます。

5. ゴシック体，縦 32 ドット×横 32 ドット相当の DEC 漢字フォントは存在しません。
-

ANSI および KANJI データ・タイプでサポートされる，すべてのフォントのフォント ID とサンプル文字列を付録 B に示します。

2.2.1.2 文字セット

文字セット指示命令 SCS(Select Character Set) でサポートされる文字セットとして，JIS カタカナ・セットと DEC 漢字指示セットが追加されています。DEC 漢字指示セットについては，「DEC 漢字コード表」(AA-A056C-TE-JO) を参照してください。それ以外の文字セットのコード表は「Digital ANSI-Compliant Printing Protocol Level 3 Programming Reference Manual」の Appendix A を参照してください。

1. JIS カタカナ

JIS カタカナは標準の 94 文字セットの SCS シーケンスを用いて G0，G1，G2，G3 のいずれかのコード・テーブルに指示 (designate) することができます。文字セット識別コードは "I"(4/9) です。

2. 漢字

漢字を使用するときは必ず，DEC 漢字指示セットが G3 コード・テーブルに指示 (designate) されていなければなりません。以下のシーケンスは，すべて DEC 漢字指示セットを G3 コード・テーブルに指示します。G3 に指示された漢字セットは通常の文字セットの呼び出し (invoke) と同様に，GL または GR コード・テーブルに呼びだして用います。

ESC	\$	+	3	DEC 漢字指示セット
1/11	2/4	2/11	3/3	1983 年版

ESC	\$	+	B	JISX0208 漢字指示セット
1/11	2/4	2/11	4/2	1983 年版

以下の 1978 年版の指示シーケンスもサポートします。ただし、実際に指示されるのは 1983 年版です。

ESC	\$	+	1	DEC 漢字指示セット
1/11	2/4	2/11	3/1	1978 年版 (新コマンド)

ESC	\$	+	@	JISX0208 漢字セット
1/11	2/4	2/11	4/0	1978 年版

ESC	+	"	0	DEC 漢字指示セット
1/11	2/11	2/2	3/0	1978 年版 (旧コマンド)

注意

1. 旧コマンドは、既存のプリンタとの互換性を保つためにサポートされていますが、新しくテキスト・ファイルを生成する場合で、DEC 漢字指示セットの指示が必要なときは、旧コマンドは使わないようにしてください。
2. DEC 漢字指示セットを GL コード・テーブルに呼び出した場合、DEC 拡張漢字領域は使用できません。
3. ANSI データ・タイプ、KANJI データ・タイプ、および LA_KANJI データ・タイプでは、DEC 漢字 1983 年版のみをサポートします。

DEC 漢字 1978 年版は、KANJI78 データ・タイプでサポートされています。

DEC 漢字 1983 年版では、DEC 拡張罫線文字 (コード FE21 ~ FE2B(16 進)) はサポートされません。

2.2.1.3 倍角文字

フォントがタイプ・ファミリで指定されているときには、文字サイズ変更命令 GSM (Graphic Size Modification) を用いて、いわゆる横倍角、縦倍角、4 倍角文字 (縦横倍角) が出力できます。

GSM では文字の高さと幅の 2 つのパラメータを指定できますが、どちらのパラメータも、現在有効なフォントのタイプ・サイズを基準にして、拡大率を百分率で指定します。指定された大きさに該当するフォントが存在しない場合、その大きさよりも小さくて最も近いフォントを選びます。このとき、既存のフォントの高さや幅を 2 倍に拡大すると目的のサイズに近いフォントが得られる場合、GSM は倍角文字を生成します。以下に例を示します。

1. 縦倍角の例

```
CSI 200 ; 100 SP B
9/11 3/11 2/0 4/2
```

DEC BUILTIN1 ファミリで、10 ポイント・フォントが現在有効なとき、上記の GSM 命令に続くテキストは 10 ポイント・フォントが縦に 2 倍に拡大されたものになります。DEC BUILTIN1 ファミリの 10 ポイント・フォントでは、10, 10.3, 12, 15cpi (文字/インチ) といった複数のフォントが存在しますが、10cpi が、10 ポイントの場合の文字幅 100%を意味します。

2. 横倍角の例 1

```
CSI 100 ; 200 SP B
```

同じく DEC BUILTIN1 ファミリで、10 ポイント・フォントが現在有効なとき、上記の GSM 命令に続くテキストは 10 ポイント 10cpi フォントが横に 2 倍に拡大されたものになります。すなわち、5cpi になります。

3. 横倍角の例 2

```
CSI 100 ; 140 SP B
```

同じく DEC BUILTIN1 ファミリで、10 ポイント・フォントが現在有効なとき、上記の GSM 命令に続くテキストは 10 ポイント 15cpi フォントが横に 2 倍に拡大されたものになります。10cpi を 100%の文字間隔とすると、ここで指定した文字幅パラメータ 140%という値は約 7.1cpi になり、このようなフォントは存在しません。そこで 7.1cpi より文字幅が小さくて最も近いフォントを探しますが、15cpi フォントの横倍角が 7.5cpi ですので、このフォントが選ばれます。

4. 4 倍角 (縦横倍角) の例

```
CSI 200 ; 200 SP B
```

縦も横も 2 倍に拡大されたものを 4 倍角といいます。DEC BUILTIN1 ファミ
リで、10 ポイント・フォントが現在有効なとき、上記の GSM 命令に続くテキ
ストは 10 ポイント 10cpi フォントが縦横に 2 倍に拡大されたものになります。

注意

1. 倍角はフォント・ローディング命令 (DECLFF) によって、ダウンロード
されたフォントに対しては無効です。
 2. 倍角をより確実に制御するために、タイプ・サイズ指定命令 (GSS) に
よってフォントを選択してから GSM を用いることをお勧めします。
-

2.2.1.4 文字ピッチ

フォントがタイプ・ファミリで指定されていて、文字ピッチが現在有効なフォント
の本来の文字ピッチから決まるのではない時、すなわち文字ピッチが明示的に指定
されている時、DEC 漢字 (2 バイト文字セット) は常に 1 バイト文字セットの半分
の文字ピッチで、すなわち倍の文字間隔で出力されます。これがいわゆる全角/半
角の文字関係です。

さらに、既存の漢字プリンタとの互換性のために、文字ピッチ指定命令、
DEC SHORP (Set Horizontal Pitch) に 6.38cpi が追加されました。

```
CSI      Ps      w
9/11          7/7
```


表 2-1 DECSHORP のパラメータ

Ps	cpi
0	現在有効なフォントの文字ピッチ
1	10 文字/インチ
2	12 文字/インチ
3	13.2 文字/インチ
4	16.5 文字/インチ
5	5 文字/インチ
6	6 文字/インチ
7	6.6 文字/インチ
8	8.25 文字/インチ
9	15 文字/インチ
10	12.77 文字/インチ
11	17.1 文字/インチ, または 6.38 文字/インチ
12	8.55 文字/インチ
13	18.0 文字/インチ
14	9.0 文字/インチ
15	10.3 文字/インチ
16	6.38 文字/インチ

Ps が 11 のとき, ANSI データ・タイプでは 17.1cpi に, KANJI, KANJI78, LA_KANJI データ・タイプでは 6.38cpi になります。これは漢字 LN03 等との互換性を維持するための処理です。将来, Ps の 11 はどのデータ・タイプでもすべて 17.1cpi として解釈されるようになる予定です。6.38cpi を使う場合は, Ps を 16 にしてください。

注意

- ANSI, KANJI, KANJI78 データ・タイプでは, フォントがタイプ・ファミリで指定されている状態 (初期状態) で文字ピッチの指定をしたときには, ピッチに合わせて最適の大きさのフォントをそのタイプ・ファ

テキスト・トランスレータ

ミリの中から選択しますが、このとき、横倍角のフォントは選択の対象にはなりません。

2. 文字ピッチ指定命令 (DEC SHORP) でパラメータ Ps を 0 にするか、またはパラメータを省略した場合、全角文字 (2 バイト文字) の文字ピッチがテキスト・トランスレータと漢字 LN03 とで異なります。テキスト・トランスレータはフォントの文字幅をそのまま使用しますが、漢字 LN03 は全角文字に対して 1 バイト文字の倍の文字幅を割り当てます。互換性を維持するためには、文字ピッチ指定命令で 0 以外のパラメータを指定してください。
-

2.2.1.5 文字属性

文字属性指定命令、SGR(Select Graphic Rendition) に反転、網掛けが追加されました。

```
CSI   Ps   ;   ...;Ps   m
9/11           3/11           6/13
```

表 2-2 SGR のパラメータ

Ps	文字属性
0	すべての属性解除
1	太字 (ボールド)
2	細字
3	斜体 (イタリック)
4	下線 (アンダーライン)
?4	スーパースクリプト (上付き)
?5	サブスクリプト (下付き)
?6	上線 (オーバーライン)
7	白黒反転
?7	網掛け
9	消去線 (ストライクスルー)
10 から 19	フォント選択
21	二重下線
22	太字/細字解除
23	斜体解除
24	下線/二重下線解除
?24	スーパースクリプト/サブスクリプト解除
?26	上線解除
27	白黒反転解除
29	消去線解除

注意

1. 太字，斜字体，白黒反転を指定した場合，トランスレータは該当する属性を有するフォントがあればそのフォントを選択し，なければ独自のアルゴリズムに従ってその属性を表現します。
2. 細字は，該当する属性を持つフォントがある場合にのみ有効です。
3. 複数の属性を同時に有効にして表示することができますが（たとえば，太字の斜体），下線と二重下線，太字と細字およびスーパースクリプトとサブスクリプトは同時に表示することはできません。
4. 1回の SGR の中で，複数の属性を一度に指定することができますが，網掛けについては，他の属性と同時に指定することはできません。
5. 網掛け属性の解除には，全属性の解除（パラメータ = 0）を用います。
6. 斜字体と白黒反転，または斜字体と網掛けを同時に使用するときに，文字間隔を詰めると文字の一部が欠けることがあります。文字間隔を十分広くとってください。
7. フォントのタイプ・サイズが異なるとき，およびスーパースクリプト/サブスクリプトを指定したときには，下線，二重下線，消去線，反転，網掛けは，一般にずれます（つながりません）。タイプ・サイズが同じでも，タイプ・ファミリが異なると同様にずれることがあります。
8. 白黒反転を下線または二重下線と同時に指定した場合，一般に下線，二重下線は見えなくなります。

2.2.1.6 縦書き

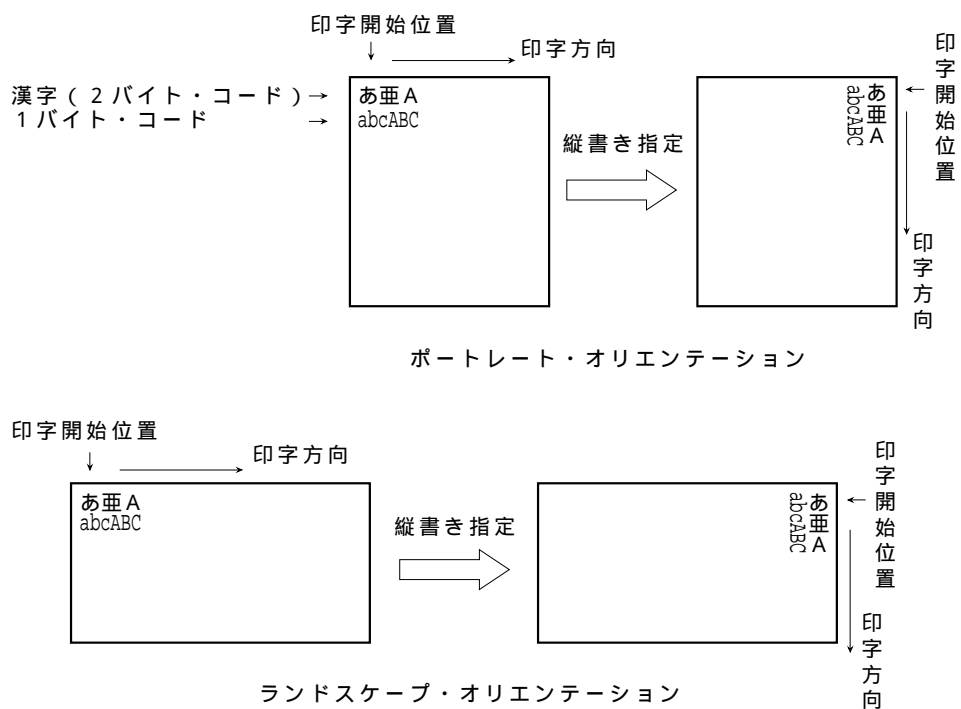
漢字縦書き指定命令，DECKVPM(Kanji Vertical Printing Mode)を用いて，DEC 漢字(2 バイト文字)を縦書きにすることができます。この命令を生成した次のページから縦書きになります。縦書きの解除は，縦書き解除命令によって行います。縦書きの解除も，命令を生成した次のページから有効になります。

この命令では，印字方向と印字開始位置の両方が変更されるので，ページのオリエンテーションは変化しません。図 2-1 を参照してください。

テキスト・トランスレータ

CSI	?	7	5	h	縦書き指定
9/11	3/15	3/7	3/5	6/8	
CSI	?	7	5	1	縦書き解除
9/11	3/15	3/7	3/5	6/12	

図 2-1 DECKVPM による縦書き (1)



注意

1. 縦書き指定によって、ページの上下マージンと左右マージンは入れ替わります。縦書きが解除された時は元に戻ります。
 2. 文字属性指定 (SGR) によって斜字体が指定されているとき、縦書きされた 2 バイト文字は、右下がりの字体になります。この機能は将来変更される可能性があります。
 3. 文字サイズ変更 (GSM) によるいわゆる横倍角は、縦書きのときには縦倍角になります。同様に縦倍角は横倍角になります。この機能は将来変更される可能性があります。
-

2.2.1.7 フォーム・オーバーレイ

フォーム・オーバーレイとは、あらかじめ見出しや罫線などのフォーム・データをトランスレータに登録し、後で入力したデータを重ねて印刷する機能です。フォームの登録および設定は、以下のシーケンスを使用します。

- フォーム・データ登録 (DECLKF)
- フォーム・オーバーレイ設定 (DECKSPP)

フォーム・データには、見出しなどに使用する文字の他、直線 (DECVEC) や印刷位置設定 (VPA など) のシーケンスを含めることができます。ただし、フォームに重ねて印刷するデータと区別するために、フォーム・データはシクセル形式で登録します。フォーム・データは、ジョブごとに最高 16 ページまで登録して使用することができます。DECLKF および、DECKSPP のシーケンスを以下に示します。

- フォーム・データの登録 (DECLKF)

DCS Pn1;Pn2;Pn3"p D....D ST

Pn1: ページ番号 (省略時 0)

- 0 = ページ番号 1
- 1-16 = ページ番号 1-16

Pn2: フォーム・データ削除 (省略時 0)

- 0 = 登録済みのフォーム・データを全て削除
- 1 = 登録するページのフォーム・データのみ削除
(ロックされているデータは、削除することができない)

Pn3: フォーム・データ ロック (省略時 0)

- 0 = ロックする (以後発行する DECLKF を無視する)
- 1 = ロックしない

D...D: フォーム・データ (シクセル形式)

• フォーム・オーバーレイ設定 (DECKSP)

CSI Ps'v

Ps: 設定パラメータ (省略時 0)

- 0 = フォーム・オーバーレイを解除
- 1-16 = ページ番号 Ps のフォーム・データを使用してオーバーレイを行う

注意

1. フォーム・データ中に、DECLKF と DECKSP のシーケンスを指定することはできません。
2. フォーム・データ中にリセットシーケンス (DECSTR, RIS) を指定すると、正常に動作しません。
3. 漢字 LN05 プリンタのフォーム・オーバーレイ機能と、以下の点で異なります。
 - 漢字 LN05 では、一度登録されたフォーム・データはジョブにまたがって使用することができます。トランスレータによるフォーム・

オーバーレイでは、各ファイルごとにフォーム・データ、およびロック機能をリセットします。よって、フォーム・オーバーレイを使用する場合は、各ファイルごとに DECLKF シーケンスでフォーム・データを登録する必要があります。複数のファイルで共通なフォーム・データは、SETUP モジュールに登録して使用することをお勧めします。

2.2.1.8 外字のローディング

DEC の他の漢字プリンタと同様に、ユーザ定義文字を印字することができます。以下に、VMS と ULTRIX でのユーザ定義文字の利用方法を示します。

注意

1. トランスレータの行うユーザ定義文字のローディングは、PostScript のフォント定義によって実現されています。このことは、ユーザ定義文字の使用によって印字性能が低下することを意味します。同じ文字が何度も現れる場合は、この制限は緩和されますが、具体的な性能は文字の現れる頻度や分布の仕方によって変化します。
 2. ユーザ定義文字のプリロード機能は、トランスレータではサポートされません。
 3. 漢字 LN03/DEC Laser2300 と異なり、トランスレータのユーザ定義文字は、プリント・ジョブごとにリセット (削除) されます。
-

2.2.1.8.1 VMS

日本語 VMS ではユーザ定義文字の作成，管理のために，FEDIT ユーティリティを提供していますが，日本語 VMS V5.5 ではさらに CHARACTER_MANAGER ユーティリティ V2.0 (以下 CMGR ユーティリティと記述します) も提供されるようになりました。このため，テキスト・トランスレータは，DEC 拡張漢字領域の文字コードに遭遇した場合，そのときのシステム環境によって，以下のような動作を行います。

- 1 CMGR ユーティリティが設定されているシステム上では，CMGR データベースに登録されているユーザ定義文字を使用します。
- 2 CMGR ユーティリティが設定されていないシステム上では，その時の漢字フォントに対応した，以下のフォント・ファイルを使用します。

JSY\$SYSTEM:TRN\$KANJI_FONT_MINCHO40.DAT

明朝体 40 × 40 ドット

JSY\$SYSTEM:TRN\$KANJI_FONT_MINCHO32.DAT

明朝体 32 × 32 ドット

JSY\$SYSTEM:TRN\$KANJI_FONT_GOTHIC40.DAT

ゴシック体 40 × 40 ドット

注意

1. 日本語 VMS V5.4 で提供されている CMGR V1.0 は，テキスト・トランスレータからは利用できません。
 2. JSY\$SYSTEM は，日本語 VMS のシステム・ディレクトリの一つを指すシステム論理名です。もしも旧システムの論理名 SYSS\$KANJI を使用している場合には，JSY\$SYSTEM が SYSS\$KANJI も参照するように定義してください。
-

テキスト・トランスレータが遭遇したユーザ定義文字の文字コードに対応する字形が登録されていれば，その文字が印字されます。該当する文字が登録されていないか，該当するフォント・ファイルが存在しない場合，逆クエスチョンマークが印字されます。

ユーザ定義文字の作成は、CMGR ユーティリティか、または FEDIT ユーティリティを使用します。CMGR ユーティリティの使用方法に関しては、『フォント管理ユーティリティ利用者の手引き』第5章および付録Aを参照してください。また、FEDIT ユーティリティの使用方法に関しては、『日本語 VMS 漢字フォント・ユーティリティ利用者の手引き』第9章または、『フォント管理ユーティリティ利用者の手引き』付録Cを参照してください。

1. CMGR ユーティリティによるユーザ定義文字の使用方法

CMGR ユーティリティでは、システム・フォント・データベースとして CMGR_DEFAULT と GOTHIC の2つが提供されます。テキスト・トランスレータは、明朝体として CMGR_DEFAULT データベース (40 × 40 ドット, 32 × 32 ドット) を、またゴシック体として GOTHIC データベース (40 × 40 ドット) を使用します。これ以外のデータベース名およびサイズで登録されているユーザ定義文字を使用することはできません。

2. FEDIT ユーティリティによるユーザ定義文字の使用方法

FEDIT ユーティリティで作成したフォント・ファイルはシーケンシャル・ファイルですが、テキスト・トランスレータで利用するためには、CONVERT ユーティリティで漢字コードをキーとしたインデクス・ファイルに変換する必要があります。日本語 DECprint プリンティング・サービスでは、この変換のための FDL ファイルを提供します。ファイル名は
SYS\$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]TRN\$KANJI_CONVERT.FDL
です。以下に、ユーザ定義文字を使用できるようにするまでの流れを、例をとって説明します。

- 1 FEDIT ユーティリティを用いて、ユーザ定義可能領域の文字コードの中から適当な文字コードを割り当ててユーザ定義文字を作成します。ここでは、40 × 40 ドットの明朝体文字を作り、出力ファイルを KANJI_FILE.TMP とします。
- 2 CONVERT ユーティリティで、KANJI_FILE.TMP をインデクス・ファイルに変換し、JSY\$SYSTEM:TRN\$KANJI_FONT_MINCHO40.DAT を作成します。

```
$ CONVERT/FDL=SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]TRN$KANJI_CONVERT -
KANJI_FILE.TMP JSY$SYSTEM:TRN$KANJI_FONT_MINCHO40.DAT
```

これだけで、定義した文字が使えるようになります。

- 3 さらに文字を追加したいときは、KANJI_FILE.TMP を FEDIT ユーティリティの入力ファイルとして1, 2 を繰り返してください。

つぎに、FEDIT ユーティリティによる外字機能から、CMGR ユーティリティによる外字機能への移行方法について説明します。

- 1 JSY\$SYSTEM ディレクトリにある以下のフォント・ファイルを、インデクス・ファイルからシーケンシャル・ファイルに変換します。

```
JSY$SYSTEM:TRN$KANJI_FONT_MINCHO40.DAT
明朝体 40 × 40 ドット
```

```
JSY$SYSTEM:TRN$KANJI_FONT_MINCHO32.DAT
明朝体 32 × 32 ドット
```

```
JSY$SYSTEM:TRN$KANJI_FONT_GOTHIC40.DAT
ゴシック体 40 × 40 ドット
```

日本語 DECprint プリンティング・サービスでは、この変換のための FDL ファイルを提供します。ファイル名は、

```
SY$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]TRN$CMGR_CONVERT.FDL
```

です。この例では、明朝体 40 × 40 ドットのフォント・ファイルをシーケンシャル・ファイルに変換し、KANJI_FILE.TMP に出力します。

```
$ CONVERT/FDL=SY$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]TRN$KANJI_CONVERT.FDL -
JSY$SYSTEM:TRN$KANJI_FONT_MINCHO40.DAT KANJI_FILE.TMP
```

注意

FEDIT ユーティリティの出力であるシーケンシャル・ファイルを保存してある場合は、この操作は必要ありません。

- 2 CMGR ユーティリティの CONVERT FONT_FILE コマンドを使用して、フォント・ファイルをプリロード・ファイルに変換します。この例では、KANJI_FILE.TMP をフォント・ファイルとし、プリロード・ファイルとして KANJI_FILE.PRE を作成します。

```
$ CHARACTER_MANAGER CONVERT FONT_FILE KANJI_FILE.TMP KANJI_FILE.PRE
```

- 3 CMGR データベースとして、CMGR_DEFAULT を指定します。

```
$ CHARACTER_MANAGER SET DATABASE CMGR_DEFAULT
```

- 4 CMGR データベースのアップデートを行います。

```
$ CHARACTER_MANAGER UPDATE/SIZE=40 KANJI_FILE.PRE
```

2.2.1.8.2 ULTRIX

日本語 ULTRIX/UWS では、テキスト・トランスレータは DEC 拡張漢字領域の文字コードに遭遇すると、そのときの漢字フォントに対応して、以下のフォント・ファイルを探します。

```
/usr/jsy/etc/trn_kanji_font_mincho40.{dir,pag}
    明朝体 40 × 40 ドット
```

```
/usr/jsy/etc/trn_kanji_font_mincho32.{dir,pag}
    明朝体 32 × 32 ドット
```

```
/usr/jsy/etc/trn_kanji_font_gothic40.{dir,pag}
    ゴシック体 40 × 40 ドット
```

このファイルの中に、該当する文字コードの字形が登録されていればその文字を印字します。該当する文字が登録されていないか、該当するフォント・ファイルが存在しない場合、逆クエスチョンマークが印字されます。

ユーザ定義文字の作成は日本語 ULTRIX でサポートされている fedit ユーティリティを用います。fedit ユーティリティの使用方法に関しては、『日本語 ULTRIX リファレンス・マニュアル』 fedit(1) を参照してください。fedit ユーティリティで作成したフォント・ファイルはシーケンシャル・ファイルですが、テキスト・トランスレータで利用するためには、lpsfgen(8) ユーティリティで漢字コードをキーとしてハッシュをかける必要があります。以下に、ユーザ定義文字を使用できるようにするまでの流れを、例をとって説明します。

テキスト・トランスレータ

- 1 `fedit(1)` ユーティリティを用いて、ユーザ定義可能領域の文字コードの中から適当な文字コードを割り当ててユーザ定義文字を作成します。ここでは 40×40 ドットの明朝体文字を作り、出力ファイルを `kanji_file.tmp` とします。
- 2 `lpsfgen(8)` ユーティリティで、`kanji_file.tmp` から `/usr/jsy/etc/trn_kanji_font_mincho40.{dir,pag}` を作成します。

```
# /usr/jsy/etc/lpsfgen kanji_file.tmp mincho40
```

- 3 これだけで、定義した文字が使えるようになります。文字をさらに追加したいときは、`kanji_file.tmp` を `fedit(1)` ユーティリティの入力ファイルとして1, 2 を繰り返してください。

2.2.1.9 sixel グラフィックス

既存の日本語プリンタとの互換性のために、`sixel` モードのマクロパラメータ (`Ps1`) として、グリッド・サイズ `0.0056`, `0.0167`, `0.0111` が追加されています。

```
DCS Ps1 ; Ps2 ; Ps3 q picture_definition ST
```

```
9/0      3/11      7/1      9/12
```

表 2-3 `sixel` のマクロパラメータ

Ps1	水平グリッド・サイズ	解像度 縦:横	垂直グリッド・サイズ
0	0.0067 インチ	200:100	0.0133 インチ
1	0.0067 インチ	200:100	0.0133 インチ
2	0.003 インチ	450:100	0.0133 インチ
3	0.0045 インチ	300:100	0.0133 インチ

(次ページに続く)

表 2-3 (続き) sixel のマクロパラメータ

Ps1	水平グリッド・サイズ	解像度 縦:横	垂直グリッド・サイズ
4	0.0053 インチ	250:100	0.0133 インチ
5	0.0075 インチ	183:100	0.0133 インチ
6	0.009 インチ	150:100	0.0133 インチ
7	0.0105 インチ	130:100	0.0133 インチ
8	0.0120 インチ	112:100	0.0133 インチ
9	0.0153 インチ	100:100	0.0133 インチ
10	0.0056 インチ	100:100	0.0056 インチ
11	0.0167 インチ	100:100	0.0167 インチ
12	0.0111 インチ	150:100	0.0167 インチ

2.2.2 KANJI データ・タイプ

KANJI データ・タイプは、DECclaser2300 レーザ・プリンタの基本モードである LN05 モードとの互換性を保つように、日本語拡張版 ANSI トランスレータの初期状態を変更したものです。使用できる命令 (コントロール・コード, コントロール・シーケンス, エスケープ・シーケンス) およびその機能においては、拡張 ANSI データ・タイプとの違いはありません。

注意

テキスト・トランスレータのリセット命令 (DECSTR, RIS) は、トランスレータを、そのデータ・タイプ固有の初期状態に復帰させます。これに対して命令表示モード, CRM (Control Rendition Mode) をセットした場合、および適合レベル選択命令, DECSCS (Select Conformance Level) を使用すると、ANSI データ・タイプで、紙サイズをレターサイズ, ポートレート・オリエンテーションで指定した場合と同じ初期状態にリセットされません。

表 2-4 に初期状態での主な相違点を示します。詳しくは、付録 C "テキスト・トランスレータの初期設定値" を参照してください。

表 2-4 拡張 ANSI と KANJI の違い

	ANSI	KANJI
文字セット		
GL,	ASCII	JIS ローマ字
GR,	DEC サプリメンタル	DEC 漢字指示
G0,	ASCII	JIS ローマ字
G1,	ASCII	VT100 ラインドローディング
G2,	DEC サプリメンタル	JIS カタカナ
G3,	DEC サプリメンタル (厳密には、DEC サプリメンタルは User Preference セットとして指定されている)	DEC 漢字指示
フォント	SGR 10 =DEC BUILTIN 1	SGR 10 =DEC BUILTIN 1 (同じタイプ・ファミリだが、初期文字ピッチが異なるので使用されるフォントも異なる。実際は ANSI ではクーリエ書体になり、KANJI では明朝体になる)
SGR17	DEC BUILTIN 1 ファミリ	明朝体 10 ポイント
SGR18	DEC BUILTIN 1 ファミリ	明朝体 8 ポイント (パラメータ 17, 18 以外のフォント割当ての初期設定値は同じ)
ポートレートでの文字ピッチ	10 cpi(フォントの値)	12.77 cpi(固定)
DEC SHORP 11	17.1 cpi	6.38 cpi

2.2.3 KANJI78 データ・タイプ

KANJI78 データ・タイプは、1978 年版 DEC 漢字コードをサポートするために、提供しているものです。DEC 漢字コード以外の機能に関しては、KANJI と変わりありません。以下の文字セット指示シーケンスは、すべて DEC 漢字 1978 年版を G3 コード・テーブルに指示します。

ESC	\$	+	1
1/11	2/4	2/11	3/1

ESC	\$	+	@
1/11	2/4	2/11	4/0

ESC	+	"	0
1/11	2/11	2/2	3/0

ESC	\$	+	3
1/11	2/4	2/11	3/3

ESC	\$	+	B
1/11	2/4	2/11	4/2

KANJI78 データ・タイプは、DEC 漢字 1983 年版文字セットを用いて、DEC 漢字 1978 年版文字セットを表現しています。1983 年版で文字コードが変わったものについては、1978 年版のコードを変換して、同じ文字が出力されるようにしていますが、1983 年版で字形が変わった文字もあるため、完全には 1978 年版と同一にならない場合があります。付録 E "JIS 漢字 1978 年版と 1983 年版の違い" を参照してください。

注意

1. DEC 罫線(コード FE21 ~ FE2B(16進))は、1983年版罫線を使用してサポートされます。
 2. DEC 漢字 1978年版は、将来サポートされなくなる可能性があります。現在 1978年版を使用している利用者の方には、できるだけ早く、1983年版に移行することをお勧めします。
-

2.2.4 LA_KANJI データ・タイプ

LA_KANJI データ・タイプは、漢字 LA86/LA280/LA380 プリンタおよび漢字 LN03/LN05 レーザプリンタの LA86 モードとの互換機能を提供します。この節では ANSI および KANJI との相違点を説明します。

注意

LA_KANJI では拡張 ANSI や KANJI データ・タイプで利用できる命令は、この節で述べる例外を除いてすべて利用できますが、他製品との互換性および将来のバージョンアップでの互換性を維持するためには、本来の LA86/280/380 プリンタでサポートされていない機能を使用することは避けてください。

LA_KANJI データ・タイプは、すでに LA86/280/380 用に作成された日本語文書がある場合を想定して提供されたものです。はじめから日本語トランスレータでの印刷を考えるなら、KANJI データ・タイプを使用してください。

2.2.4.1 DEC 漢字

KANJI データ・タイプと同様に、LA_KANJI データ・タイプでは、DEC 漢字 1983 年版のみをサポートします。

2.2.4.2 縦書き

LA_KANJI での縦書きは、文字属性指定命令 (SGR) のパラメータ 10/11 で行います。縦書き指定命令 (DECKVPM) は LA_KANJI では無視されます。初期状態は横書き (SGR パラメータ = 10) です。

Ps	意味
10	縦書き解除
11	縦書き
12 から 19	無視されます

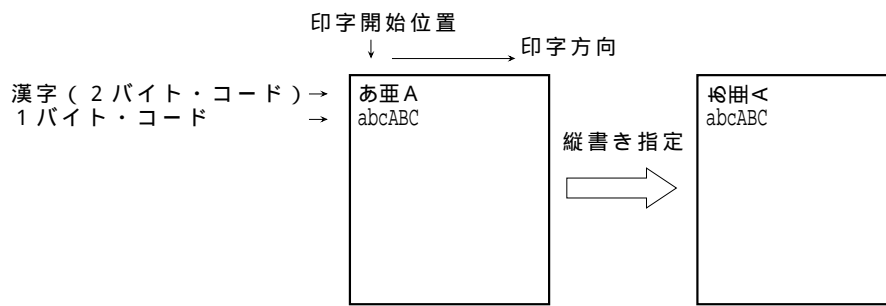
注意

SGR の 10 ~ 19 以外のパラメータの意味は、拡張 ANSI および KANJI と同じです。

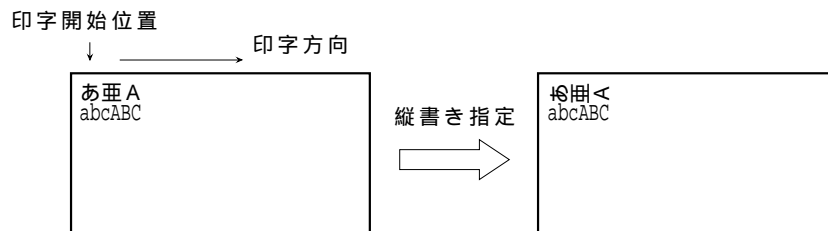
この SGR での縦書き指定/解除は、DECKVPM とは異なり、印字方向も印字開始位置も変えません。DEC 漢字 (2 バイト・コード) だけが、左に 90 度回転させられたように見えます。さらに、DECKVPM と異なり、命令指定時点からすぐに有効になります。図 2-2 を参照してください。

テキスト・トランスレータ

図 2-2 DECKVPM による縦書き (2)



ポートレート・オリエンテーション



ランドスケープ・オリエンテーション

注意

LA_KANJIでは、SGRの10～19はフォントの選択に使用することはできません。したがって、LA_KANJIではゴシック体フォントを表示することはできません。

2.2.4.3 文字サイズ変更命令 (GSM)

LA_KANJIでは、文字サイズ変更命令 (GSM) のパラメータ値として、100または200のみが有効です。パラメータ値200が指定されると、文字を縦または横に倍に拡大します。すでに倍角になっている場合はさらに倍にはなりません。LA_KANJIでは、GSMの他に、文字ピッチ指定命令 (DEC SHORP)、行拡大命令 (DEC DWL、DEC DHLT、DEC DHLB) を使用しても倍角文字が表示できます。

2.2.4.4 文字ピッチ指定命令 (DEC SHORP)

文字ピッチ指定命令 (DEC SHORP) はANSIおよびKANJIのDEC SHORPとは機能が異なり、フォントの変更と横倍角の選択ができます。ポートレート・オリエンテーションとランドスケープ・オリエンテーションで、使用されるフォントは変わります。表2-5と表2-6をご覧ください。

表 2-5 LA_KANJI の DEC SHORP - ポートレート・オリエンテーションのとき

Ps	cpi	使用されるフォント		
0	10 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	10 ポイント	10cpi
1	10 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	10 ポイント	10cpi
2	12 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	10 ポイント	12cpi
3	13.2 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	10 ポイント	15cpi
4	16.5 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	8 ポイント	18.75cpi
5	5 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	10 ポイント	10cpi 横倍角
6	6 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	10 ポイント	12cpi 横倍角
7	6.6 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	10 ポイント	15cpi 横倍角
8	8.25 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	8 ポイント	18.75cpi 横倍角
9	15 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	10 ポイント	15cpi
10	12.77 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	10 ポイント	15cpi
11	6.38 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	10 ポイント	15cpi 横倍角
12	8.55 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	8 ポイント	18.75cpi 横倍角
13	18 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	8 ポイント	18.75cpi
14	9 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	8 ポイント	18.75cpi 横倍角
15	10.3 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	10 ポイント	10.3cpi
16	6.38 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	10 ポイント	15cpi 横倍角

表 2-6 LA_KANJI の DEC SHORP - ランドスケープ・オリエンテーションのとき

Ps	cpi	使用されるフォント		
0	13.6 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	6.7 ポイント	13.6cpi(フォントの値)
1	10 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	6.7 ポイント	13.6cpi
2	12 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	6.7 ポイント	13.6cpi
3	13.2 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	6.7 ポイント	13.6cpi
4	16.5 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	6.7 ポイント	13.6cpi
5	5 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	6.7 ポイント	13.6cpi 横倍角
6	6 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	6.7 ポイント	13.6cpi 横倍角
7	6.6 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	6.7 ポイント	13.6cpi 横倍角
8	8.25 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	6.7 ポイント	13.6cpi 横倍角
9	15 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	6.7 ポイント	13.6cpi
10	12.77 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	6.7 ポイント	13.6cpi
11	6.38 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	6.7 ポイント	13.6cpi 横倍角
12	8.55 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	6.7 ポイント	13.6cpi
13	18 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	6.7 ポイント	13.6cpi
14	9 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	6.7 ポイント	13.6cpi
15	10.3 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	6.7 ポイント	13.6cpi
16	6.38 文字/インチ	DEC BUILTIN 1	6.7 ポイント	13.6cpi 横倍角

注意

1. 将来、Ps の 11 は全て 17.1cpi として解釈されるようになる予定です。将来の互換性が必要なら、6.38cpi を使う場合は、Ps を 16 にしてください。
2. テキスト・トランスレータでは、従来の 132 桁印字をサポートするために、ランドスケープ・オリエンテーションでの印字で自動的に文字サイズを縮小して 132 桁印字ができるようにしています。ランドスケープのときには、6.7 ポイント 13.6cpi が初期状態となります。すなわち、従来 LA86/280/380 で印刷した場合は 10cpi であった文字が、LA_KANJI のランドスケープでは 6.7 ポイントになります。この状態で DECSHORP を用いて文字間隔を変更した場合、たとえば 5cpi にしたとすると、LA86/280/380 では 10cpi から 5cpi に変わりますが、LA_KANJI では、13.6cpi から 5cpi に変わるようになります。

要するに、ランドスケープ・オリエンテーションにおいては、LA_KANJI と LA86/280/380 で互換性を保てない場合が生じます。

2.2.4.5 行拡大命令 (DECDHLT, DECDHLB, DECSWL, DECDWL)

LA_KANJI では、VT シリーズ・ビデオ端末の機能である 4 つの行拡大命令をサポートしています。

DECDHLT	ESC	#	3	4 倍角文字 (この行のみ有効)
	1/11	2/3	3/3	
DECDHLB	ESC	#	4	空白行 (この行のみ有効)
	1/11	2/3	3/4	
DECSWL	ESC	#	5	倍角解除 (この行のみ有効)
	1/11	2/3	3/5	
DECDWL	ESC	#	6	横倍角文字 (この行のみ有効)
	1/11	2/3	3/6	

注意

1. VT シリーズ端末では、DEC DHLT は拡大文字の上半分を、DEC DHLB は拡大文字の下半分を表示しますが、LA_KANJI では DEC DHLT で、拡大した文字全体を印字し、DEC DHLB は空白を印字することにより、同じ機能を実現しています。したがって、DEC DHLT と DEC DHLB は必ずこの順番で、続けて使用するようになしてください。
2. 行拡大命令は、VT シリーズ端末の画面出力をプリンタ上でも表示できるようにしますが、VT シリーズ端末ではこれらは行に対する属性です。したがって行拡大命令を同じ行の中で組み合わせて使用することはできません。LA_KANJI では文字に対する属性として扱われますので、組み合わせての使用は可能ですが、将来のバージョンアップにおける互換性の維持に障害となる可能性がありますので、同じ行のなかで行拡大命令を組み合わせることは避けてください。さらに、行拡大命令をプリンタ固有の命令 (たとえば、DEC SHORP, GSM 等) と組み合わせて使用することは避けてください。やはり将来のバージョンアップにおける互換性の維持に障害となる可能性があります。

2.2.4.6 行ピッチ指定命令 (DECVERP)

LA_KANJI では行ピッチ指定命令のパラメータ値 0 は、6 行/インチです。一方、ANSI および KANJI ではパラメータ値 0 は、現在有効なフォントの持つ行間隔の値を反映させます。

2.3 既存のプリンタとの相違

データ・タイプはいずれも、既存の DEC 社のプリンタ製品との互換性を保つようにはしていますが、いくつかの相違点もあります。ここでは、データ・タイプごとに、対応するプリンタとの機能の違いを述べます。ANSI データ・タイプと他の英語版プリンタとの違いは「Digital ANSI-Compliant Printing Protocol Level 3 Programming Supplement」で述べられていますので、ここでは弊社の漢字プリンタとの違いのみを述べます。

注意

XON/XOFF, DECRFS, DECFSR, DSR, DA, パリティ, C1 コントロール enable/disable モード等の通信制御/ハードウェア状態の報告機能等は、トランスレータの性質上使用できませんので、以下の相違点の説明からは省いてあります。

2.3.1 KANJI データ・タイプ

KANJI データ・タイプは、DEC Laser 2300 レーザ・プリンタの LN05 モードに対応しています。表 2-7 に両者の相違点を示します。

表 2-7 漢字 LN05 と KANJI の相違点

相違点	漢字 LN05	KANJI
紙サイズ	A4, B4, B5, *A5, *官製はがき, *自由 (*手差しのみ)	A3, A4, A5, B4, B5 レター, リーガル, B(11"×17"), エグゼクティブ(7.5"×10.5")
ページ・オリエンテーション	1. PFS/DECVPFS 命令で設定 2. ハードウェアの SET_UP で設定	1. PFS/DECVPFS 命令による 2. PRINT コマンドのパラメータ (PAGE_ORIENTATION による。トランスレータのランドスケープ・オリエンテーションでは、文字サイズなどの初期設定値がポートレート・オリエンテーションとは異なる)
オートラップ/トランケート	1. DECAWM モードで設定 2. SET_UP で設定 3. フォーム定義で設定	1. DECAWM モードによる 2. 初期設定は必ずオートラップ 3. フォーム定義による
初期文字セット GL GR 漢字コード	SET_UP で設定 SET_UP で設定 SET_UP で 1978 年版と 1983 年版切り換え可能	常に G0 常に G3(ANSI では G2) 常に 1983 年版 (1978 年版は、KANJI78 による)
ユーザ指定文字セット (User Preference)	SET_UP で DEC サプリメントと ISOLATIN1 サプリメントの切り換え可能	常に DEC サプリメント
フォント		
英文書体	ビットマップ クーリエ, エリート, PI	アウトライン クーリエ
和文書体	ビットマップ 明朝体 OCR-B カタカナ	アウトライン 明朝体・ゴシック体 OCR-B カタカナ (OCR-B カタカナフォントのないプリンタに対してはゴシック体カタカナで代用する) (トランスレータでは、エリートフォント, PI フォントはクーリエフォントで代用している。クーリエ, 明朝も書体デザインは LN05 と異なる)

(次ページに続く)

表 2-7 (続き) 漢字 LN05 と KANJI の相違点

相違点	漢字 LN05	KANJI
エラー文字		
未定義コード	逆クエスチョンマーク	逆クエスチョンマーク
未定義フォント	ブロップ (黒い四角)	逆クエスチョンマーク
未定義ユーザ文字	四角	逆クエスチョンマーク

(次ページに続く)

表 2-7 (続き) 漢字 LN05 と KANJI の相違点

相違点	漢字 LN05	KANJI
縦書き文字	SET_UP によって以下の文字も縦書き用にできる (, . - ÷ < >)	これらの文字は縦書き用にならない
文字ピッチの変更	文字間隔を変えるだけ	同時に適当なピッチのフォントに変える (サイズも変わることがある)
斜字体 (イタリック) の代用	アンダライン	正体フォントから計算によって作成
オンデマンド・ローディング	SET_UP で有効/無効を選択可能	常に有効 ただしプリント・ジョブごとにリセットされる
プリローディング (漢字)	可	不可
フォームオーバーレイ	あり	あり ただしプリント・ジョブごとにリセットされる
テキストと Tektronix の混在	可	不可
SGR		スーパースクリプト, サブスクリプト, オーバーラインが使用できる
DECSHORP	パラメータ 11 は SET_UP で 6.38CPI または 17.1CPI に設定できる	パラメータ 11 は常に 6.38CPI (ANSI では常に 17.1CPI) パラメータ 12 ~ 16 が追加されている
DECSHORP 0 の時の漢字のピッチ	SET_UP によって, 漢字フォント本来のピッチか 1byte 文字フォントの半分のピッチかを選択できる	常に漢字フォント本来のピッチ
DECVERP		パラメータ 12 ~ 16 が追加されている

2.3.2 LA_KANJI

LA_KANJI データ・タイプは, 漢字 LA86/LA280/LA380 プリンタに対応していません。また, 漢字 LN03/DEClaser2300 レーザ・プリンタの LA86 モードにも対応しません。これらの相違点を表 2-8 に示します。

表 2-8 LA86/LA280/LA380 と LA_KANJI の相違点

相違点	LA86	LA280/LA380	漢字 LN03/LN05 LA86 mode	LA_KANJI
紙サイズ	連続紙 最大幅 16 インチ	連続紙 最大幅 16 インチ	カット紙 A4, レター (LN03) A4, B4, B5(LN05)	カット紙 A4, レター, リーガ ル, B, A3, A5, B4, B5
解像度	180dpi	180dpi	300dpi	300dpi または 400dpi(LN82R)
初期設定 文字ピッチ	SET_UP	SET_UP	12.77cpi	12.77cpi (ポートレート) 13.6cpi (ランドスケープ)
行ピッチ	SET_UP	SET_UP	6.25cpi	6.25cpi (ポートレート) 8.33cpi (ランドスケープ)
オートラップモード	SET_UP	SET_UP	SET_UP	オートラップ
文字セット				
G0	JIS ローマ字	SET_UP ¹	JIS ローマ字	JIS ローマ字
G1	DECVT100	SET_UP ¹	DECVT100	DECVT100
GR	SET_UP	SET_UP ¹	漢字 ²	漢字
DEC 漢字	SET_UP ³	SET_UP ³	SET_UP ³	1983 年版
ESC + " 0				(1983 年版)
ESC \$ + 1				(1983 年版)
ESC \$ + @				(1983 年版)
ESC \$ + 3				
ESC \$ + B				
SGR での淡印字	可	可	不可	不可

¹LA380 では、G0 ~ G3 に各種文字セットを SET_UP で設定可能。

²LA05 では SET_UP 設定。

³SET_UP で 1978 年版か 1983 年版かを選択可能。

(次ページに続く)

表 2-8 (続き) LA86/LA280/LA380 と LA_KANJI の相違点

相違点	LA86	LA280/LA380	漢字 LN03/LN05 LA86 mode	LA_KANJI
DECSHORB パラメータ				
3	13.33cpi	13.33cpi	6.7 ポイント 13.6cpi フォント	10 ポイント 15cpi フォント
7	6.67cpi (横倍角)	6.67cpi	6.7 ポイント 13.6cpi の横倍角	10 ポイント 15cpi の横倍角
8	8.18cpi (横倍角)	なし	8 ポイント 18.75cpi の横倍角	8 ポイント 18.75cpi の横倍角
BELL(0/7)	あり	あり	なし	なし
リセット命令	なし	なし	あり	あり
セルフテスト命令	あり	あり	なし	なし
印字濃度選択命令	あり	あり	なし	なし
ページ オリエンテーション	なし	なし	SET_UP	あり (初期値が異なる)
sixel デフォルト グリッド・サイズ (インチ)	横 縦 .0056 .0056	横 縦 .0056 .0056	横 縦 .0067 .0133	横 縦 .0067 .0133

注意

漢字 LN03 の LN03S-JA モードと KANJI データ・タイプの違いは、漢字 LN03 の LA86 モードと LA_KANJI との違いにもあてはまります。

カタカナ Tektronix トランスレータ

日本語 DECprint 製品群で提供する、Tektronix 4010/4014(TEK4014) プロトコルを PostScript に変換するトランスレータは、英語版とまったく同じです。この TEK4014 トランスレータの他に、DECprint 製品群では、JIS ローマ字セットと JIS カタカナ文字セットを使用する、カタカナ Tektronix トランスレータ(データ・タイプ名は TEK_KANA)を提供します。この章では TEK4014 と TEK_KANA との違いを説明します。この章で触れられていない部分については、英語版 TEK4014 トランスレータと同じなので、「PostScript Translators Reference Manual for ReGIS and Tektronix 4010/4014」の PART II "Tektronix 4010/4014 Translator" を参照してください。

3.1 文字セット

TEK4014 トランスレータでは、使用できる文字セットは ASCII だけですが、TEK_KANA トランスレータでは JIS ローマ字セットと JIS カタカナ文字セットが表示できます。初期状態では JIS ローマ字が表示されます。JIS カタカナへの切り替えは、以下のコントロール・コードおよびエスケープ・シーケンスで行います。

SO 0/14		以降の表示文字を JIS カタカナ文字セットにする
SI 0/15		以降の表示文字を JIS ローマ字セットにする
ESC 1/11	SO 0/14	以降の表示文字を JIS カタカナ文字セットにする
ESC 1/11	SI 0/15	以降の表示文字を JIS ローマ字セットにする

注意

1. TEK_KANA トランスレータは、7 ビット文字コードのみを受け付けます。データコードの 8 ビット目 (MSB) は無視されます。
 2. カタカナ文字に使われるフォントは、JIS ローマ字のフォントと書体が異なります。
-

3.2 既存のプリンタとの相違

トランスレータはいずれも、既存の弊社製品との互換性を保つようになっていますが、いくつかの相違点もあります。ここでは、TEK_KANA トランスレータと対応する漢字 LN03/LN05 の Tektronix モードとの機能の違いを述べます。TEK4014 トランスレータと他の Tektronix プロトコル表示装置との違いは「PostScript Translators Reference Manual for ReGIS and Tektronix 4010/4014」で述べられています。

相違点	漢字 LN03/LN05	TEK_KANA
紙サイズ	A4	A5, A4, A3, B5, B4, レター, リーガル, 7.5" × 10.5", 11" × 14", 11" × 17"
ページ・オリエンテーション	ランドスケープのみ	PRINT コマンドのパラメータによる
文字サイズ	2 種 (LN03/LN05 では、文字セルサイズは 4 種であるが、文字サイズは 2 種類のみ)	4 種
フォント英文字	ビットマップ	アウトライン
フォントカタカナ	ビットマップ (OCR 書体)	アウトライン (明朝体)
ノーマル・ベクトルの太さ	3 ピクセル	4 ピクセル

漢字 ReGIS トランスレータ

DECprint 製品群で提供する ReGIS プロトコルを PostScript に変換するトランスレータは、英語版とまったく同じです。この ReGIS トランスレータの他に、DECprint 製品群では、DEC 漢字や JIS カタカナ文字セットを使用する、漢字 ReGIS トランスレータ (データ・タイプ名は REGIS_KANJI または REGIS_KANJI80) を提供します。この章では、英語版 ReGIS トランスレータと漢字 ReGIS トランスレータとの違いを説明します。この章で触れられていない部分については、英語版 ReGIS トランスレータと同じなので、「PostScript Translators Reference Manual for ReGIS and Tektronix 4010/4014」の PART I "ReGIS Translator" を参照してください。

4.1 REGIS_KANJI と REGIS_KANJI80

REGIS_KANJI と REGIS_KANJI80 は、日本語グラフィック端末、VT284 の REGIS モードとの互換機能を提供します。REGIS_KANJI は VT284 のグラフィック設定の ReGIS85 桁表示に、REGIS_KANJI80 は ReGIS80 桁表示に、それぞれ対応しています。

注意

ReGIS および漢字 ReGIS トランスレータは、すでに VT 端末用に作成された ReGIS 形式のファイルを印刷することを目的として提供されています。トランスレータからの出力は、VT 端末の ReGIS よりも精度が高い等の利点がありますが、将来のバージョンアップでの互換性を維持するためには、本来の VT 端末の ReGIS でサポートされていない機能を使用することは避けてください。また、日本語 PostScript プリンタを利用したグラフィック・アプリケーションを新たに作成する場合は、トランスレータを使用せずに PostScript を直接使用することを強くお勧めします。

VT284 の ReGIS 仕様に関しては、『Kanji Graphic Display VT284/VT286 Programmer Reference Manual』の第 5 章 "ReGIS PROGRAMMING" を参照してください。

REGIS_KANJI と REGIS_KANJI80 の違いは、REGIS_KANJI が英語版 VT24x との互換性を重視して、初期画面アドレス、標準文字セルサイズを決定しているのに対して、REGIS_KANJI80 は VT284 の画面の大きさ (縦 720 ピクセル横 960 ピクセル) を画面アドレスにしたときに、文字が VT284 固有の大きさで表示されることを意図して、標準文字セルサイズを決定している点です。以下に REGIS_KANJI80 の標準文字セルサイズを示します。

注意

REGIS_KANJI データ・タイプの標準文字セルサイズは、英語版 REGIS データ・タイプと同じです。

表 4-1 REGIS_KANJI80 での標準文字セルサイズ

サイズ番号	ディスプレイセル・サイズ	ユニットセル・サイズ	文字移動量
S0	[12,12]	[11,12]	[12,]
S1	[12,24]	[11,24]	[12,]
S2	[24,36]	[22,36]	[24,]
S3	[36,54]	[33,54]	[36,]
S4	[48,72]	[44,72]	[48,]
S5	[60,90]	[55,90]	[60,]
S6	[72,108]	[66,108]	[72,]
S7	[84,126]	[77,126]	[84,]
S8	[96,144]	[88,144]	[96,]
S9	[108,162]	[99,162]	[108,]
S10	[120,180]	[110,180]	[120,]
S11	[132,198]	[121,198]	[132,]
S12	[144,216]	[132,216]	[144,]
S13	[156,234]	[143,234]	[156,]
S14	[168,252]	[154,252]	[168,]
S15	[180,270]	[165,270]	[180,]
S16	[192,288]	[176,288]	[192,]

注意

表 4-1 のサイズの値は画面アドレスが 960 × 720 のときの値です。画面アドレスの初期値は REGIS_KANJI と REGIS_KANJI80 で同じですが (800 × 480) , REGIS_KANJI80 では、画面アドレスを 960 × 720 に設定して使用することを強くお勧めします。

REGIS_KANJI および REGIS_KANJI80 の初期設定状態を付録 D に示します。

4.2 文字セット

ReGIS トランスレータでは、使用できる文字セットは ASCII だけですが、漢字 ReGIS トランスレータでは DEC 漢字指示セット、JIS ローマ字セット、JIS カタカナ文字セットも指定できます。DEC 漢字指示セットについては、「DEC 漢字コード表」(AA-A056C-TE-JO)を参照してください。文字セットの切り替えは、テキスト・コマンドの以下の文字セットオプションを用います。

T(A0(L"<文字セット指示子>"), または T(A0(R"<文字セット指示子>"))

ダブルクォーテーションマーク (") はシングルクォーテーションマーク (') で置き換えることもできます。ここで、L は ANSI データ・タイプでの GL 部分、すなわち文字コードの 8 ビット目 (MSB) が off(0) である文字コードを示し、R は GR 部分、すなわち文字コードの MSB が on(1) である文字コードを示します。以下に各文字セットの<文字セット指示子>を示します。

文字セット指示子	文字セット
+J	JIS ローマ字セット
+B	ASCII 文字セット
+I	JIS カタカナ文字セット
\$+3	DEC 漢字指示セット 1983 年版

注意

1. 漢字 ReGIS トランスレータで使用される文字の書体は明朝体です。
 2. 漢字以外の文字セット指示子の + は , (,) , または * と置き換えてもかまいません。
 3. 漢字指示子は , \$+1 , \$+@ , \$+B でもかまいません。いずれも DEC 漢字指示セット 1983 年版が表示できます。
 4. 文字列の区切り文字であるシングルクォーテーション/ダブルクォーテーションが 2 バイト文字の 1 バイト目の後に続く場合は , これらは 2 バイト文字の 2 バイト目として処理されます。
 5. 漢字 ReGIS トランスレータでは , DEC 拡張漢字はサポートされません。したがってオンデマンド・ローディングも行われません。
 6. 漢字に対しては , 文字スペーシングの値が 2 倍にされて , 次の文字の位置が決定されます。これは漢字 (2 バイト文字) を全角で , 1 バイトの文字を半角で表示するための処置です。
 7. DEC 漢字の未定義文字は全角空白で表示されます。
-

4.3 文字ロード・コマンド

英語版 REGIS データ・タイプの文字ロード・コマンドでは、文字サイズは横 8 ドット縦 10 ドットのビットマップ文字が文字セット 1, 2, または 3 にロードできます。漢字 ReGIS では、この文字サイズを以下の形式で横 8 ~ 11 ドット、縦 10 ~ 24 ドットの範囲で選択できます。

L[<横ドット数>, <縦ドット数>]

注意

1. 漢字 ReGIS では、ロードされた文字を表示するときには、どのドットサイズで指定された文字でもユニットセル・サイズに合わせて、文字を拡大または縮小して表示します。
 2. ロード・コマンドで指定するドットサイズは、1 つの文字セット内では変えないようにしてください。
-

4.4 文字シェーディング

英語版 REGIS データ・タイプでは文字シェーディングに用いられるのは、横 8 ドット縦 10 ドットのビットマップ文字 (ASCII 文字セットのみ) ですが、漢字 ReGIS ではそのときの GL 文字セットが ASCII でない場合には、アウトライン文字 (明朝体) を用います。

注意

1. アウトライン文字は、そのときのユニットセル・サイズよりやや縮小されて表示されます。これは、VT 端末での文字シェーディングで、文字の下側の数ドット列が削除されて表示されることに対応しています。
 2. 現在の GL 文字セットが漢字のときは、シェーディング文字は ASCII 文字セットを用います。
-

4.5 既存の VT 端末との相違

トランスレータはいずれも、既存の弊社製品との互換性を保つようになっていますが、いくつかの相違点もあります。表 4-2 は、漢字 ReGIS トランスレータと対応する漢字グラフィック端末 VT284 の ReGIS モードとの機能の違いを示しています。REGIS データ・タイプと VT240 との違いは、英語版マニュアル「PostScript Translators Reference Manual for ReGIS and Tektronix 4010/4014」で述べられています。

漢字 ReGIS トランスレータ

表 4-2 VT284 と漢字 ReGIS トランスレータの違い

相違点	VT284	トランスレータ
ReGIS への切り替え	エスケープシーケンス	データ・タイプ (REGIS_KANJI, REGIS_KANJI80)
初期画面アドレス	[0,0][767,479]	[0,0][799,479]
線の太さ	画面の 1/960	画面の 1/800
画面スクロール		
S[X,Y]	あり	なし
S(pv)	あり	なし
S(D(0)),S(D(1))	あり	なし
カーソル制御		
S(C(0)),S(C(1))	あり	なし
印刷制御		
S(H),S(H[X,Y])	あり	なし
S(H[X,Y][X,Y])	あり	なし
遅延時間指定 S(W(M{n}))	あり	なし
ページ排出指定 S(F)	なし	あり
明度 (Lightness)	明度 100%が最も明るい	明度 100%は黒で印刷
補色ライティングモード W(C)	あり	オーバーレイモードで 代用
フォアグラウンド画面制御 W(F{n})	あり	なし
線幅指定 W(L{n})Y	なし	あり
標準文字サイズ (T(Sn)) と 画面アドレスの関係	アドレスが変化しても 見かけの大きさは変わらない	アドレスに対応して 大きさは変化する
文字フォント	VT284/286 11 × 24 文字セット	アウトライン フォント (モリサワ竜明朝書体)
80 カラム/85 カラム設定	設定画面による	データ・タイプによる
初期 GL 文字セット	設定による (JIS ローマ字または ASCII)	JIS ローマ字セット

(次ページに続く)

表 4-2 (続き) VT284 と漢字 ReGIS トランスレータの違い

相違点	VT284	トランスレータ
初期 GR 文字セット	設定による (DEC 漢字または JIS カタカナ)	DEC 漢字
文字オートラップ	あり	なし (切り捨て)
文字ティルト指定 T(D(A))	なし	あり
文字回転時のゆがみ	90 度単位以外では大きくなる	90 度単位以外でも文字サイズは変わらないが、互換性の保持のために、文字間隔は変わる
ロード文字セット名指定	あり	なし
レポート命令	あり	なし
DEC 拡張漢字サポート	あり	なし

注意

1. トランスレータでは、色は灰色の濃さで表わされます。詳しくは、「PostScript Translators Reference Manual for ReGIS and Tektronix 4010/4014」の Table 5-3 を参照してください。
2. トランスレータでは、色マップの変更 (S(M)) は既に描かれたものの色には影響しません。
3. トランスレータは画面消去命令 (S(E)) ではページ排出しません。ページ排出が必要ならば S(F) を使ってください。
4. トランスレータは非常に複雑なポリゴン (自身と交差する点が多くあるようなもの) の塗り潰しを行った場合に、PostScript の limitcheck エラーを引き起こす場合があります。
5. トランスレータでは、標準文字サイズ番号によって指定された文字の大きさは、そのときの画面アドレスによって変化します。画面アドレスを変更するような ReGIS アプリケーションが、文字サイズ番号による文字サイズ指定をしている場合、VT 端末とトランスレータの互換性は失われます。このような場合は、ユニットセル・サイズ指定 (T(U[x,y])) で文字サイズを指定してください。

6. REGIS_KANJI80 の標準文字サイズは、画面アドレスが 960 × 720 のときに VT284 と互換性が取れるように設定しています。
-

A

テキスト・トランスレータのエスケープ/コントロール・シーケンス一覧

テキスト・トランスレータのエスケープ/コントロール・シーケンス一覧

表 A-1 コントロール・コード

名称 (略号)	コード (エスケープ・シーケンス)
Null (NUL)	00/00
Backspace (BS)	00/08
Horizontal Tab (HT)	00/09
Line Feed (LF)	00/10
Vertical Tab (VT)	00/11
Form Feed (FF)	00/12
Carriage Return (CR)	00/13
Shift Out (SO)	00/14
Shift In (SI)	00/15
Cancel (CAN)	01/08
Substitute (SUB)	01/10
Escape (ESC)	01/11
Delete (DEL)	07/15
Index (IND)	08/04, (ESC D)
Next Line (NEL)	08/05, (ESC E)
Horizontal Tab Set (HTS)	08/08, (ESC H)
Vertical Tab Set (VTS)	08/10, (ESC J)
Partial Line Down (PLD)	08/11, (ESC K)
Partial Line Up (PLU)	08/12, (ESC L)
Reverse Index (RI)	08/13, (ESC M)
Single Shift 2 (SS2)	08/14, (ESC N)
Single Shift 3 (SS3)	08/15, (ESC O)
Device Control String (DCS)	09/00, (ESC P)
Control Sequence Introducer (CSI)	09/11, (ESC [)
String Terminator (ST)	09/12, (ESC ¥)
Operating System Command (OSC)	09/13, (ESC])
Privacy Message (PM)	09/14, (ESC ^)
Application Program Command (APC)	09/15, (ESC _)

表 A-2 エスケープ/コントロール・シーケンス

名称 (略号)	シーケンス
Announce Subset of Code Extention Facilities (DECASCEF)	ESC SP F
Assign Type Family or Font (DECATFF)	DCS P1 ; P2 } ** ST
Assign User-Preference Supplemental Set (DECAUPSS)	DCS Ps ! u ** ST
Automatic Sheet Feeder Control/Tray Select (DECASFC)	CSI Ps ! v
Autowrap Mode (DECAWM)	CSI ? 7 h/CSI ? 7 l
Clear All Horizontal Tabs (DECCAHT)	ESC 2
Clear All Vertical Tabs (DECCAHT)	ESC 4
Clearing Tabulation Stops (TBC)	CSI Ps g
Control Representation Mode (CRM)	CSI 3 h/CSI 3 l
CR New Line Mode (DECCRNLM)	CSI ? 40 h/CSI ? 40 l
Cursor Up (CUU)	CSI Pn A
Delete Type Family (DECDTFF)	DCS Ps ~ *** ST
Draw Relative Vector (DECRVEC)	CSI Ps1 ; Pn3 ; Pn3 ; SP
Draw Vector (DECVEC)	CSI Ps1 ; Pn2 ; ...; Pn5 !
Graphic Size Modification (GSM)	CSI Pn ; Pm SP B
Graphic Size Select (GSS)	CSI Pn SP C
Horizontal Position Absolute (HPA)	CSI Pn `
Horizontal Position Relative (HPR)	CSI Pn a
Horizontal Position Backward (HPB)	CSI Pn j
Horizontal Tab Set (DECHTS)	ESC 1
Justify (JFY)	CSI Ps SP F
Kanji Select Predefined Page (DECKSPP)	CSI Ps ' v
Kanji Vertical Printing Mode (DECKVPM)	CSI ? 75 h/CSI ? 75 l
LF Newline Mode (LNM)	CSI 20 h/CSI 20 l
Load Font File (DECLFF)	DCS P1;P2;P3 y **;** ST
Load Kanji Form (DECLKF)	DCS P1;P2;P3"p**ST

(次ページに続く)

テキスト・トランスレータのエスケープ/コントロール・シーケンス一覧

表 A-2 (続き) エスケープ/コントロール・シーケンス

名称 (略号)	シーケンス
Locking Shift 2 (LS2)	ESC n
Locking Shift 3 (LS3)	ESC o
Locking Shift 1 R (LS1R)	ESC ~
Locking Shift 2 R (LS2R)	ESC }
Locking Shift 3 R (LS3R)	ESC
Origin Placement Mode (DECOPM)	CSI ? 52 h/CSI ? 52 l
Page Format Select (PFS)	CSI Ps SP J
Pitch Select Mode (DECPSM)	CSI ? 29 h/CSI ? 29 l
Position Unit Mode (PUM)	CSI 11 h/CSI 11 l
Proportional Spacing (DECSPS)	CSI ? 27 h/CSI ? 27 l
Reset to Initial State (RIS)	ESC c
Select Conformance Level (DECSCL)	CSI Ps " p
Select Font (SGR)	CSI Ps m (Ps = 10 - 19)
Select Character Set, G0 (SCS)	ESC (F
Select Character Set, G1 (SCS)	ESC) F
Select Character Set, G2 (SCS)	ESC * F
Select Character Set, G3 (SCS)	ESC + F
Select Character Set, G3, Multi-Byte	ESC \$ + F
Select Graphic Rendition (SGR)	CSI Ps m
Select Horizontal Spacing (SHS)	CSI Ps SP K
Select Size Unit (SSU)	CSI Ps SP I
Select Vertical Spacing (SVS)	CSI Ps SP L
Set Horizontal Pitch (DECSHORP)	CSI Ps w (Ps = 0-16)
Set Horizontal Tabulation (DECSHTS)	CSI Pn ; ... ; Pn u
Set Left and Right Margins (DECSLRM)	CSI Pn ; Pm s
Set Lines Per Physical Page (DECSLPP)	CSI Pn t
Set Top and Bottom Margins (DECSTBM)	CSI Pn ; Pm r
Set Vertical Pitch (DECVERP)	CSI Ps z (Ps=0-6,10-16)

(次ページに続く)

表 A-2 (続き) エスケープ/コントロール・シーケンス

名称 (略号)	シーケンス
Set Vertical Tabulation (DECSVTS)	CSI Pn ; ... ; Pn v
Sixel Graphic	DCS Ps1;Ps2;Ps3 q ** ST
Soft Terminal Reset (DECSTR)	CSI ! p
Spacing Pitch Increment (SPI)	CSI Pv ; Ph SP G
Variable Page Format Select (DECVPFS)	CSI Ps1 ; Pn2 ...; Pn11 SP z
Vertical Position Absolute (VPA)	CSI Pn d
Vertical Position Backward (VPB)	CSI Pn k
Vertical Position Relative (VPR)	CSI Pn e
Vertical Tab Set (DECVTS)	ESC 3

表 A-3 LA_KANJI に特有のエスケープ・シーケンス

名称 (略号)	エスケープ・シーケンス
Double-Height Line, Top (DECDHLT)	ESC #3
Double-Height Line, Bottom (DECDHLB)	ESC #4
Single-Width Line (DECSWL)	ESC #5
Double-Width Line (DECDWL)	ESC #6

B

フォント ID

表 B-1 に、日本語テキスト・トランスレータでサポートされているフォントの
フォント ID を示します。

フォント ID

表 B-1 フォント ID

ファミリ	タイプ サイズ	ピッチ cpi	文字 セット	--- Type Family
				----- Font ID
				----- Font File ID -----
Builtin1	10	10	ASCII	DBULTN1J02SK00GG0001UZZZZ02F000
Builtin1	10	10	Suppl.	DBULTN1J02SK00GG0001OZZZZ02F000
Builtin1	10	10	カタカナ	DBULTN1J02SK00GG00021ZZZZ02F000
Builtin1	10	10.3	ASCII	DBULTN1202SK00GG0001UZZZZ02F000
Builtin1	10	10.3	Suppl.	DBULTN1202SK00GG006DDZZZZ02F000
Builtin1	10	10.3	カタカナ	DBULTN1202SK00GG00021ZZZZ02F000
Builtin1 ¹	10	12	ASCII	DBULTN1L02SK00GG0001UZZZZ02F000
Builtin1 ¹	10	12	Suppl.	DBULTN1L02SK00GG006DDZZZZ02F000
Builtin1	10	12	カタカナ	DBULTN1L02SK00GG00021ZZZZ02F000
Builtin1 ¹	10	15	ASCII	DBULTN1002SK00GG0001UZZZZ02F000
Builtin1 ¹	10	15	Suppl.	DBULTN1002SK00GG006DDZZZZ02F000
Builtin1	10	15	カタカナ	DBULTN1002SK00GG00021ZZZZ02F000
Builtin1	10	7.5	漢字	DBULTN1502SK00GG00COJZZZZ02F000
Builtin1 ¹	8	18.75	ASCII	DBULTN16028K00GG0001UZZZZ02F000
Builtin1 ¹	8	18.75	Suppl.	DBULTN16028K00GG006DDZZZZ02F000
Builtin1	8	18.75	カタカナ	DBULTN16028K00GG00021ZZZZ02F000
Builtin1	8	9.38	漢字	DBULTN14028K00GG00COJZZZZ02F000
Builtin1	6.7	13.6	ASCII	DBULTN1101VK00GG0001UZZZZ02F000
Builtin1	6.7	13.6	Suppl.	DBULTN1101VK00GG006DDZZZZ02F000
Builtin1	6.7	13.6	カタカナ	DBULTN1101VK00GG00021ZZZZ02F000
Builtin1 ²	6.7	6.8	漢字	DBULTN1G01VK00GG00COJZZZZ02F000
Courier	10	10	ASCII	RCOURIRJ02SK00GG0001UZZZZ02F000
Courier	10	10	Suppl.	RCOURIRJ02SK00GG006DDZZZZ02F000
Courier	10	10	VT100	RCOURIRJ02SK00GG0001CZZZZ02F000
Courier	10	10	Tech.	RCOURIRJ02SK00GG0001QZZZZ02F000

¹PostScript の Courier フォントで代用します。

²明朝体 8 ポイントフォントで代用します。

(次ページに続く)

B-2 フォント ID

表 B-1 (続き) フォント ID

ファミリ	タイプ サイズ	ピッチ cpi	文字 セット	--- Type Family
				----- Font ID
				----- Font File ID -----
Courier	10	10.3	ASCII	RCOURIR202SK00GG0001UZZZZ02F000
Courier	10	10.3	Suppl.	RCOURIR202SK00GG0006DDZZZ02F000
Courier	10	10.3	VT100	RCOURIR202SK00GG0001CZZZZ02F000
Courier	10	10.3	Tech.	RCOURIR202SK00GG0001QZZZZ02F000
Courier	6.7	13.6	ASCII	RCOURIR101VK00GG0001UZZZZ02F000
Courier	6.7	13.6	Suppl.	RCOURIR101VK00GG0006DDZZZ02F000
Courier	6.7	13.6	VT100	RCOURIR101VK00GG0001CZZZZ02F000
Courier	6.7	13.6	Tech.	RCOURIR101VK00GG0001QZZZZ02F000
Elite ¹	10	12	ASCII	RELITE0L02SK00GG0001UZZZZ02F000
Elite ¹	10	12	Suppl.	RELITE0L02SK00GG0006DDZZZ02F000
Elite ¹	10	12	VT100	RELITE0L02SK00GG0001CZZZZ02F000
Elite ¹	10	12	Tech.	RELITE0L02SK00GG0001QZZZZ02F000
明朝 ¹	10	15	ASCII	RMINCHOO02SK00GG0001UZZZZ02F000
明朝 ¹	10	15	Suppl.	RMINCHOO02SK00GG0006DDZZZ02F000
明朝	10	15	カタカナ	RMINCHOO02SK00GG00021ZZZZ02F000
明朝	10	7.5	漢字	RMINCHO502SK00GG00COJZZZZ02F000
明朝 ¹	8	18.75	ASCII	RMINCHO6028K00GG0001UZZZZ02F000
明朝 ¹	8	18.75	Suppl.	RMINCHO6028K00GG0006DDZZZ02F000
明朝	8	18.75	カタカナ	RMINCHO6028K00GG00021ZZZZ02F000
明朝	8	9.38	漢字	RMINCHO4028K00GG00COJZZZZ02F000
明朝 ²	6.7	6.8	漢字	RMINCHOG01VK00GG00COJZZZZ02F000
PI	10	10	VT100	D000000J02SK00GG0001CZZZZ02F000
PI	10	10	Tech.	D000000J02SK00GG0001QZZZZ02F000
PI	10	10.3	VT100	D000000202SK00GG0001CZZZZ02F000
PI	10	10.3	Tech.	D000000202SK00GG0001QZZZZ02F000

¹PostScript の Courier フォントで代用します。

²明朝体 8 ポイントフォントで代用します。

(次ページに続く)

フォント ID

表 B-1 (続き) フォント ID

ファミリ	タイプ サイズ	ピッチ cpi	文字 セット	--- Type Family
				----- Font ID
				----- Font File ID -----
PI	10	12	VT100	D000000L02SK00GG0001CZZZZ02F000
PI	10	12	Tech.	D000000L02SK00GG0001QZZZZ02F000
PI	10	15	VT100	D000000002SK00GG0001CZZZZ02F000
PI	10	15	Tech.	D000000002SK00GG0001QZZZZ02F000
PI	8	18.75	VT100	D0000006028K00GG0001CZZZZ02F000
PI	8	18.75	Tech.	D0000006028K00GG0001QZZZZ02F000
PI	6.7	13.6	VT100	D000000101VK00GG0001CZZZZ02F000
PI	6.7	13.6	Tech.	D000000101VK00GG0001QZZZZ02F000
OCR カナ ³	10	10	カタカナ	ROCRK00J02SK00GG00021ZZZZ02F000
OCR カナ ³	10	10.3	カタカナ	ROCRK00202SK00GG00021ZZZZ02F000
OCR カナ ³	10	12	カタカナ	ROCRK00L02SK00GG00021ZZZZ02F000
OCR カナ ³	6.7	13.6	カタカナ	ROCRK00101VK00GG00021ZZZZ02F000
ゴシック	10	15	ASCII	RGOTHIC002SK00GG0001UZZZZ02F000
ゴシック	10	15	Suppl.	RGOTHIC002SK00GG006DDZZZZ02F000
ゴシック	10	15	カタカナ	RGOTHIC002SK00GG00021ZZZZ02F000
ゴシック	10	7.5	漢字	RGOTHIC502SK00GG00COJZZZZ02F000

³OCR カナフォントのないプリンタの場合 GothicBBB-Medium.Katakana で代用します。

- Suppl. : DEC サプリメンタル文字セット
- Tech. : DEC テクニカル文字セット
- VT 100 : DEC VT100 ラインドローイング文字セット
- 漢字 : DEC 漢字指示セット

注意

ASCII に対応する各国のローマ字セット (JIS ローマ字セット, United Kingdom セットなど) も提供されます。

DEC テクニカル文字セットと DEC VT100 ラインドローイング文字セットは、どの書体を選んでも PI フォントを uses。

C

テキスト・トランスレータの初期設定値

テキスト・トランスレータの初期状態は、データ・タイプ、紙サイズ、およびページ・オリエンテーションによって左右されます。表 C-1 に、紙サイズとページ・オリエンテーションに左右されない初期値を示します。

KANJI78 データ・タイプの初期設定は、DEC 漢字指示セットが 1978 年版であることを除いて、KANJI データ・タイプと同じですので、KANJI データ・タイプの初期設定を参照してください。

注意

実際のプリント・ジョブにおいてはここで示す初期設定値が、トランスレータの外部からの指定で、変更される場合があります。その場合、テキストファイルの先頭でのトランスレータの状態は、ここで示す初期設定値とは異なるかもしれません。たとえば、日本語 DECprint プリンティング・サービスで、フォーム定義を利用して 1 行の文字数を決めることができますが、これはトランスレータの初期状態とは異なるかもしれません。

本章では以下のように、紙サイズ別のテキスト・トランスレータの初期設定値を示します。

表 C-2 レター・サイズ (A サイズ) の初期設定値

表 C-3 A4 サイズの初期設定値

表 C-4 B サイズ (11" × 17") 初期設定値

表 C-5 リーガル・サイズ (8.5" × 14") の初期設定値

表 C-6 A5 サイズ (5.8" × 8.3") の初期設定値

テキスト・トランスレータの初期設定値

表 C-7 A3 サイズ (11.7" × 16.5") の初期設定値

表 C-8 B5 サイズ (7.2" × 10.1") の初期設定値

表 C-9 B4 サイズ (10.1" × 14.3") の初期設定値

表 C-10 エグゼクティブ・サイズ (7.5" × 10.5") の初期設定値

表 C-1 テキスト・トランスレータの初期設定値

項目	初期値		
	ANSI	KANJI	LA_KANJI
フォント	Courier	明朝	明朝
原点 (DECOPM)	左上 1/4 インチ (reset)	左上 1/4 インチ (reset)	左上 1/4 インチ
位置指定単位 (PUM)	文字 (reset)	文字 (reset)	文字
サイズ単位	デシポイント	デシポイント	—
水平タブ	8 桁ごと	8 桁ごと	8 桁ごと
垂直タブ	毎行	毎行	—
オートラップ (DECAWM)	する (set)	する (set)	する
LF 復帰改行 (LNM)	しない (reset)	しない (reset)	しない
CR 復帰改行 (DECCRNLM)	しない (reset)	しない (reset)	しない
ピッチ選択 (DECPSM)	有効 (reset)	有効 (reset)	—
プロポーショナル (DECSP)	固定 (reset)	固定 (reset)	—
文字属性 (SGR)	すべて off(SGR=0)	すべて off(SGR=0)	すべて off(SGR=0)

(次ページに続く)

C-2 テキスト・トランスレータの初期設定値

表 C-1 (続き) テキスト・トランスレータの初期設定値

項目	初期値		
	ANSI	KANJI	LA_KANJI
縦書き (DECKVPM)	しない (reset)	しない (reset)	しない (SGR=10)
文字セット			
G0	ASCII	JIS ローマ字	JIS ローマ字
G1	ASCII	DEC VT100	DECVT100
G2	User Preference	JIS カタカナ	JIS カタカナ
G3	User Preference	DEC 漢字指示	DEC 漢字指示
GL	G0	G0	G0
GR	G2	G3	G3
User Preference	DEC サプリメンタル	DEC サプリメンタル	---
フォント選択 (SGR=10-19)	SGR=10	SGR=10	
10	DBULTN1	DBULTN1	
11	RCOURIR	RCOURIR	
12	RELITE0	RELITE0	
13	RCOURIRJ02SK00GG	RCOURIRJ02SK00GG	
14	RELITE0L02SK00GG	RELITE0L02SK00GG	
15	RCOURIR101VK00GG	RCOURIR101VK00GG	
16	RCOURIR202SK00GG	RCOURIR202SK00GG	
17	DBULTN1	RMINCHOO02SK00GG	
18	DBULTN1	RMINCHO6028K00GG	
19	DBULTN1	DBULTN1	

注意

テキスト・トランスレータのリセット命令 (DESTR, RIS) によって回復される状態は、ここで示されるデータ・タイプ、紙サイズ、およびページ・オリエンテーションによって決まる、それぞれの初期状態です。

テキスト・ファイルの印刷出力のフォーマットは、プリンタやトランスレータの初期状態だけでなく、VMS であれば DCL の SET TERMINAL、フォーム定義、装置制御ライブラリ・モジュールの指定、KPRINT の使用などで変わります。プリント・キューの設定を行うシステム管理者は、それらの効果を把握していなければなりません。

表 C-2 レター・サイズ (A サイズ) の初期設定値

項目	初期値					
	ポートレート			ランドスケープ		
	ANSI	KANJI	LA_KANJI	ANSI	KANJI	LA_KANJI
文字ピッチ						
文字/インチ	10.00 ¹	12.77	12.77	13.60 ¹	13.60 ¹	13.60 ¹
文字/行	80	102	102	132	132	132
行ピッチ						
行/インチ	6.25 ¹	6.25	6.25	8.33 ¹	8.33 ¹	8.33 ¹
行/ページ	66	66	66	66	66	66
マージン (単位: インチ)						
左マージン	0.00	0.00	0.00	0.44	0.44	0.44
右マージン	8.00	8.00	8.00	10.12	10.12	10.12
トップ・マージン	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ボトム・マージン	10.56	10.56	10.56	7.92	7.92	7.92

¹現在有効なフォントによって決まる値

テキスト・トランスレータの初期設定値

表 C-3 A4 サイズの初期設定値

項目	初期値					
	ポートレート			ランドスケープ		
	ANSI	KANJI	LA_KANJI	ANSI	KANJI	LA_KANJI
文字ピッチ						
文字/インチ	10.30 ¹	12.77	12.77	13.60 ¹	13.60 ¹	13.60 ¹
文字/行	80	98	98	132	132	132
行ピッチ						
行/インチ	6.25 ¹	6.25	6.25	8.33 ¹	8.33 ¹	8.33 ¹
行/ページ	68	68	68	66	66	66
マージン (単位: インチ)						
左マージン	0.00	0.00	0.00	0.73	0.73	0.73
右マージン	7.73	7.73	7.73	10.41	10.41	10.41
トップ・マージン	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ボトム・マージン	10.88	10.88	10.88	7.92	7.92	7.92

¹現在有効なフォントによって決まる値

表 C-4 B サイズ (11" x 17") の初期設定値

項目	初期値					
	ポートレート			ランドスケープ		
	ANSI	KANJI	LA_KANJI	ANSI	KANJI	LA_KANJI
文字ピッチ						
文字/インチ	10.00 ¹	12.77	12.77	13.60 ¹	13.60 ¹	13.60 ¹
文字/行	105	135	135	225	225	225
行ピッチ						
行/インチ	6.25 ¹	6.25	6.25	8.33 ¹	8.33 ¹	8.33 ¹
行/ページ	103	103	103	88	88	88
マージン (単位: インチ)						
左マージン	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
右マージン	10.50	10.50	10.50	16.50	16.50	16.50
トップ・マージン	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ボトム・マージン	16.50	16.50	16.50	10.50	10.50	10.50

¹現在有効なフォントによって決まる値

テキスト・トランスレータの初期設定値

表 C-5 リーガル・サイズ (8.5" × 14") の初期設定値

項目	初期値					
	ポートレート			ランドスケープ		
	ANSI	KANJI	LA_KANJI	ANSI	KANJI	LA_KANJI
文字ピッチ						
文字/インチ	10.00 ¹	12.77	12.77	13.60 ¹	13.60 ¹	13.60 ¹
文字/行	80	102	102	172	172	172
行ピッチ						
行/インチ	6.25 ¹	6.25	6.25	8.33 ¹	8.33 ¹	8.33 ¹
行/ページ	84	84	66	66	66	66
マージン (単位: インチ)						
左マージン	0.00	0.00	0.00	0.44	0.44	0.44
右マージン	8.00	8.00	8.00	13.12	13.12	13.12
トップ・マージン	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ボトム・マージン	13.56	13.56	13.56	7.92	7.92	7.92

¹現在有効なフォントによって決まる値

C-8 テキスト・トランスレータの初期設定値

表 C-6 A5 サイズ (5.8" × 8.3") の初期設定値

項目	初期値					
	ポートレート			ランドスケープ		
	ANSI	KANJI	LA_KANJI	ANSI	KANJI	LA_KANJI
文字ピッチ						
文字/インチ	10.30 ¹	12.77	12.77	13.60 ¹	13.60 ¹	13.60 ¹
文字/行	53	68	68	105	105	105
行ピッチ						
行/インチ	6.25 ¹	6.25	6.25	8.33 ¹	8.33 ¹	8.33 ¹
行/ページ	48	48	48	44	44	44
マージン (単位: インチ)						
左マージン	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
右マージン	5.33	5.33	5.33	7.77	7.77	7.77
トップ・マージン	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ボトム・マージン	7.77	7.77	7.77	5.33	5.33	5.33
¹ 現在有効なフォントによって決まる値						

テキスト・トランスレータの初期設定値

表 C-7 A3 サイズ (11.7" x 16.5") の初期設定値

項目	初期値					
	ポートレート			ランドスケープ		
	ANSI	KANJI	LA_KANJI	ANSI	KANJI	LA_KANJI
文字ピッチ						
文字/インチ	10.00 ¹	12.77	12.77	13.60 ¹	13.60 ¹	13.60 ¹
文字/行	111	143	143	218	218	218
行ピッチ						
行/インチ	6.25 ¹	6.25	6.25	8.33 ¹	8.33 ¹	8.33 ¹
行/ページ	100	100	100	93	93	93
マージン (単位: インチ)						
左マージン	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
右マージン	11.19	11.19	11.19	16.04	16.04	16.04
トップ・マージン	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ボトム・マージン	16.04	16.04	16.04	11.19	11.19	11.19

¹現在有効なフォントによって決まる値

表 C-8 B5 サイズ (7.2" × 10.1") の初期設定値

項目	初期値					
	ポートレート			ランドスケープ		
	ANSI	KANJI	LA_KANJI	ANSI	KANJI	LA_KANJI
文字ピッチ						
文字/インチ	10.00 ¹	12.77	12.77	13.60 ¹	13.60 ¹	13.60 ¹
文字/行	66	85	85	131	131	131
行ピッチ						
行/インチ	6.25 ¹	6.25	6.25	8.33 ¹	8.33 ¹	8.33 ¹
行/ページ	60	60	60	55	55	55
マージン (単位: インチ)						
左マージン	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
右マージン	6.67	6.67	6.67	9.62	9.62	9.62
トップ・マージン	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ボトム・マージン	9.62	9.62	9.62	6.67	6.67	6.67

¹現在有効なフォントによって決まる値

テキスト・トランスレータの初期設定値

表 C-9 B4 サイズ (10.1" × 14.3") の初期設定値

項目	初期値					
	ポートレート			ランドスケープ		
	ANSI	KANJI	LA_KANJI	ANSI	KANJI	LA_KANJI
文字ピッチ						
文字/インチ	10.00 ¹	12.77	12.77	13.60 ¹	13.60 ¹	13.60 ¹
文字/行	96	123	123	188	188	188
行ピッチ						
行/インチ	6.25 ¹	6.25	6.25	8.33 ¹	8.33 ¹	8.33 ¹
行/ページ	86	86	86	80	80	80
マージン (単位: インチ)						
左マージン	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
右マージン	9.62	9.62	9.62	13.83	13.83	13.83
トップ・マージン	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ボトム・マージン	13.83	13.83	13.83	9.62	9.62	9.62

¹現在有効なフォントによって決まる値

表 C-10 エグゼクティブ・サイズ (7.5" x 10.5") の初期設定値

項目	初期値					
	ポートレート			ランドスケープ		
	ANSI	KANJI	LA_KANJI	ANSI	KANJI	LA_KANJI
文字ピッチ						
文字/インチ	10.00 ¹	12.77	12.77	13.60 ¹	13.60 ¹	13.60 ¹
文字/行	70	89	89	136	136	136
行ピッチ						
行/インチ	6.25 ¹	6.25	6.25	8.33 ¹	8.33 ¹	8.33 ¹
行/ページ	62	62	62	58	58	58
マージン (単位: インチ)						
左マージン	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
右マージン	7.00	7.00	7.00	10.00	10.00	10.00
トップ・マージン	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ボトム・マージン	10.00	10.00	10.00	7.00	7.00	7.00

¹現在有効なフォントによって決まる値

D

漢字 ReGIS トランスレータの初期設定値

表 D-1 に、REGIS_KANJI と REGIS_KANJI80 で共通の、表 D-2 に、REGIS_KANJI 特有の、表 D-3 には、REGIS_KANJI80 特有の初期設定値をそれぞれ示します。

テキスト・トランスレータの初期設定値

表 D-1 漢字 ReGIS トランスレータの初期設定値

項目	ReGIS 命令	備考
画面アドレス	S(A[0,0][799,479])	
カラーマップ (グレイスケール)	S(M0(L0)1(L33)2(L66)3(L100))	M0 - 白 M1 - 薄い灰色 M2 - 濃い灰色 M3 - 黒
背景色	S(I(L0))	白
線種	W(P1)	実線
線種パターン倍率	W(P(M2))	2 倍
ピクセルベクタ倍率	W(M1)	1 倍
ネガティブ・パターン制御	W(N0)	off
描画色	W(I3)	マップ A3, 即ち黒
オーバーレイ制御	W(V)	有効
シェーディング制御	W(S0)	無効
文字セット (アルファベット)	T(A0)	アルファベット 0
GL 文字セット	T(A0(L'+J'))	JIS ローマ字
GR 文字セット	T(A0(R'S+3'))	DEC 漢字
文字セルサイズ	T(S1)	文字サイズ 1
文字高さ倍率	T(H2)	2 倍
ティルト制御	T(D0 S1 D0)	文字列ティルト及び 文字ティルトなし
斜体制御	T(I0)	斜体なし
文字サイズ倍率	T(M[1,2])	文字幅に対して 1 倍 高さに対して 2 倍
ロード文字セット	L(A1)	アルファベット 1
ロード文字サイズ	L[8,10]	横 8 ドット縦 10 ドット

D-2 漢字 ReGIS トランスレータの初期設定値

表 D-2 REGIS_KANJI データ・タイプ特有の初期設定値

項目	ReGIS 命令	備考
文字セルサイズ 1 の 表示セルサイズ	T(S[9,20])	
文字セルサイズ 1 の ユニットセルサイズ	T(U[8,20])	
文字セルサイズ 1 の 文字間隔	T[+9,+0]	

表 D-3 REGIS_KANJI80 データ・タイプ特有の初期設定値

項目	ReGIS 命令	備考
文字セルサイズ 1 の 表示セルサイズ	T(S[12,24])	画面アドレスを 960 × 720 とした場合
文字セルサイズ 1 の ユニットセルサイズ	T(S[12,24])	同上
文字セルサイズ 1 の 文字間隔	T[+12,+0]	同上

JIS 漢字 1978 年版と 1983 年版の違い

JIS 漢字 1983 年版 (JIS X 0208-1983, 旧 JIS 番号:JIS C6226-1983) は, 漢字および非漢字文字からなる文字セットです。

JIS 漢字 1983 年版の構成は次の表のようになっています。

JIS漢字1983年版(6,877文字)	-----非漢字文字.....524文字 (特殊文字, 数字, ローマ字, ひらがな, カタカナ, ギリシア文字, ロシア文字, 罫線素片)
	----第1水準漢字.....2,965文字
	----第2水準漢字..... 3,388文字

JIS 漢字 1983 年版は, これまでの JIS 漢字 1978 年版 (JIS C6226-1978) に対して以下のような追加, 変更が行われました。

1. 特殊文字 39 文字, 罫線素片 32 文字, 漢字 4 文字が追加されました。
2. 第 1 水準と第 2 水準の漢字, 22 組 44 文字の位置が入れ替わりました。
3. 第 1 水準および第 2 水準の漢字, 246 文字の字形が変更されました。

JIS 漢字 1978 年版と 1983 年版の違い

以下に変更された文字の一覧 (JIS 漢字 1983 年版) を示します。括弧内は区点番号を表しています ((02-26) は 2 区 26 点)。 第 1 水準と第 2 水準の位置が交換された漢字 (22 組 44 文字)

鯆 (16-19)	鯆 (82-45)
鶯 (18-09)	鶯 (82-84)
蛎 (19-34)	蠣 (73-58)
攪 (19-41)	攪 (57-88)
竈 (19-86)	竈 (67-62)
灌 (20-35)	灌 (62-85)
諫 (20-50)	諫 (75-61)
頸 (23-59)	頸 (80-84)
砧 (25-60)	礪 (66-72)
蕊 (28-41)	蕊 (73-02)
靱 (31-57)	靱 (80-55)
賤 (33-08)	賤 (76-45)
壺 (36-59)	壺 (52-68)
砺 (37-55)	礪 (66-74)
梲 (37-78)	梲 (59-77)
濤 (37-83)	濤 (62-25)
迓 (38-86)	迓 (77-78)
蠅 (39-72)	蠅 (74-04)
桧 (41-16)	檜 (59-56)
俛 (43-89)	儘 (48-54)
藪 (44-89)	藪 (73-14)
籠 (47-22)	籠 (68-38)

表 E-1 字形が変更された漢字 (247 文字)

唾 (16-02)	逢 (16-09)	芦 (16-18)	飴 (16-27)	溢 (16-78)	翮 (16-83)
淫 (16-92)	迂 (17-10)	鬱 (17-21)	厩 (17-25)	樽 (17-29)	餌 (17-34)
焰 (17-75)	襖 (18-08)	鷗 (18-10)	迦 (18-64)	恢 (18-90)	拐 (18-93)
晦 (19-02)	概 (19-21)	喝 (19-69)	葛 (19-75)	鞞 (19-83)	嚙 (19-90)
澗 (20-34)	翰 (20-45)	翫 (20-69)	徽 (21-11)	祗 (21-32)	俠 (22-02)
卿 (22-10)	僅 (22-47)	軀 (22-77)	喰 (22-84)	櫛 (22-91)	屑 (22-93)
祁 (23-23)	慧 (23-37)	稽 (23-46)	繫 (23-50)	荊 (23-53)	隙 (23-68)
倦 (23-81)	嫌 (23-89)	捲 (23-94)	鯨 (24-20)	諺 (24-33)	巷 (25-11)
昂 (25-23)	溝 (25-34)	麴 (25-77)	鵠 (25-84)	甌 (25-89)	采 (26-51)
冴 (26-67)	榭 (26-71)	柵 (26-84)	薩 (27-07)	鯖 (27-10)	捌 (27-11)
鏞 (27-12)	珊 (27-25)	屨 (28-40)	遮 (28-55)	杓 (28-61)	灼 (28-62)
繡 (29-11)	酋 (29-22)	曙 (29-76)	渚 (29-77)	薯 (29-82)	諧 (29-83)
哨 (30-05)	廠 (30-19)	梢 (30-31)	蔣 (30-53)	醬 (30-63)	鞞 (30-68)
蝕 (31-10)	逗 (31-64)	翠 (31-73)	摺 (32-02)	逝 (32-34)	蟬 (32-70)
撰 (32-81)	栓 (32-82)	煎 (32-89)	煽 (32-90)	詮 (33-07)	噌 (33-25)
遡 (33-44)	搔 (33-63)	瘦 (33-73)	遜 (34-29)	驂 (34-45)	腿 (34-60)

(次ページに続く)

表 E-1 (続き) 字形が変更された漢字 (247 文字)

黨 (34-67)	啄 (34-79)	濯 (34-85)	琢 (34-86)	蛸 (34-93)	巽 (35-07)
辿 (35-09)	棚 (35-10)	鱈 (35-13)	樽 (35-14)	箎 (35-29)	註 (35-80)
瀦 (35-85)	凋 (35-92)	抄 (36-29)	槌 (36-40)	鎚 (36-42)	塚 (36-45)
搨 (36-47)	辻 (36-52)	鄭 (37-02)	擢 (37-07)	溺 (37-14)	填 (37-22)
顛 (37-31)	堵 (37-40)	屠 (37-43)	菟 (37-49)	賭 (37-50)	塘 (37-68)
禱 (37-88)	鴛 (38-30)	洸 (38-34)	滯 (38-52)	噸 (38-53)	遁 (38-59)
頓 (38-60)	那 (38-65)	謎 (38-70)	灘 (38-71)	檣 (38-74)	襦 (39-09)
囊 (39-25)	牌 (39-55)	這 (39-71)	秤 (39-73)	剥 (39-77)	箬 (40-04)
澆 (40-14)	醜 (40-16)	挽 (40-52)	扉 (40-66)	槌 (40-85)	柁 (41-02)
稗 (41-03)	逼 (41-15)	媛 (41-18)	謬 (41-21)	廟 (41-32)	瀕 (41-46)
頻 (41-49)	蔽 (42-35)	警 (42-45)	婉 (42-58)	庖 (42-89)	泡 (43-02)
蓬 (43-09)	頰 (43-43)	鱒 (43-80)	迄 (43-88)	麵 (44-45)	儲 (44-57)
餅 (44-63)	糲 (44-66)	鎧 (44-90)	愈 (44-92)	癒 (44-94)	猷 (45-18)
耀 (45-52)	萊 (45-73)	遼 (46-43)	漣 (46-90)	煉 (46-91)	蓮 (47-01)
榔 (47-17)	蠟 (47-25)	兔 (49-29)	冉 (49-39)	冕 (49-43)	冤 (49-45)
啞 (51-16)	啞 (51-26)	嘲 (51-62)	嚙 (51-75)	珊 (52-36)	媾 (53-29)
冤 (53-67)	屏 (54-02)	悞 (56-04)	揆 (57-64)	搆 (57-76)	攢 (58-25)

(次ページに続く)

表 E-1 (続き) 字形が変更された漢字 (247 文字)

斃 (58-45)	杓 (59-37)	拐 (59-42)	椰 (59-75)	梶 (59-84)	湮 (62-48)
爨 (64-06)	玆 (64-63)	甄 (65-11)	甍 (65-16)	甕 (65-17)	皓 (66-11)
礪 (66-79)	稱 (67-42)	穉 (67-52)	籛 (68-25)	粿 (68-68)	粮 (68-78)
認 (69-25)	綦 (69-27)	緜 (69-38)	翔 (70-38)	舩 (71-68)	芍 (71-73)
苜 (71-82)	莫 (72-20)	葱 (72-27)	蔗 (72-84)	蛛 (73-65)	螂 (74-07)
蟒 (74-29)	褊 (74-79)	靚 (75-18)	論 (75-70)	譁 (75-86)	跚 (76-73)
跟 (76-84)	輓 (77-46)	迪 (77-76)	邁 (78-09)	覺 (78-55)	霽 (80-37)
靠 (80-49)	頤 (80-85)	鬪 (82-13)	鮫 (82-28)	鯨 (82-46)	麪 (83-49)
龜 (83-93)					

索引

A

ANSI 1-3, 2-1, 2-27

C

Control Rendition Mode 2-26
CONVERT コーティリテイ 2-21
CRM 2-26

D

DEC BUILTIN1 2-9, 2-10
DECDHLB 2-36
DECDHLT 2-36
DECDWL 2-36
DECKVPM 2-14
DECSCL 2-26
DECSHOPR 2-10, 2-37
DECSTR 2-26
DECSWL 2-36
DEC 漢字 2-30
DEC 漢字指示セット 2-6, 2-8

F

FEDIT コーティリテイ 2-21

G

GSM 2-8

J

JIS E-1
JIS カタカナ 2-6

K

KANJI 1-3, 2-3, 2-27
 データ・タイプ 2-26, 2-38
KANJI78 1-3, 2-3
 データ・タイプ 2-28
KANJI データ・タイプ 2-38

L

LA_KANJI 1-3, 2-3, 2-41, A-5
 トランスレータ 2-30

P

PostScript 1-1, 2-1

R

REGIS 1-3
REGIS_KANJI 1-3, 4-2
REGIS_KANJI80 1-3, 4-2
RIS 2-26

S

SCS 2-6
Select Conformance Level 2-26
SGR 2-12
sixel 2-24
 グラフィックス 2-24

T

TEK4014 1-3
TEK_KANA 1-3

V

VM 2-19

エ

エスケープ・シーケンス A-2, A-3

カ

外字 2-19
 ULTRIX 2-23
 VMS 2-20
カタカナ Tektronix トランスレータ 3-1
漢字 2-6
漢字 ReGIS トランスレータ 4-1, D-1

キ

行拡大命令 2-36, 2-37
行ピッチ指定命令 (DECVERP) 2-37

コ

コントロール
 ・コード A-2
 ・シーケンス A-3

シ

初期設定値 C-1, D-1

タ

第1水準 E-1, E-2
第2水準 E-1, E-2
タイプ・サイズ指定命令 (GSS) 2-10
縦書き 2-14
 解除 2-15

縦書き (続き)

 指定 2-15
縦倍角 2-8
縦横倍角 2-8

テ

適合レベル選択命令 2-26
テキスト・トランスレータ 2-1

ト

トランスレータ 1-1, 2-1

ニ

日本語拡張版 ANSI トランスレータ 2-4

ハ

倍角文字 2-8

ヒ

表記法 viii
標準文字セルサイズ 4-3

フ

フォーム・オーバーレイ 2-17
フォント 2-5
 ・ローディング命令 (DECLFF) 2-10
フォント ID B-1

ホ

ポートレート・オリエンテーション 2-26,
 2-34

ミ

明朝体 2-5

メ

命令表示モード 2-26

モ

文字サイズ変更 (GSM) 2-17
文字サイズ変更命令 (GSM) 2-33
文字シェーディング 4-7
文字属性 2-12
文字属性指定 (SGR) 2-17
文字属性指定命令 (SGR) 2-12
文字セット 2-6, 3-2, 4-4
文字ピッチ 2-10
文字ピッチ指定命令 (DECSHORP) 2-33

文字ロードコマンド 4-6

ユ

ユーザ定義文字 2-19

ヨ

横倍角 2-8
4倍角 2-8

ラ

ランドスケープ・オリエンテーショ
ン 2-35

リ

リセット命令 2-26

日本語トランスレータ リファレンス・マニュアル

1999年4月 発行

コンパックコンピュータ株式会社

〒140-8641 東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セントラルタワー

電話 (03)5463-6600 (大代表)

AA-RH5TA-TE

